

Ⅱ 調査結果の概要

1 事業所に関する集計

(1) 事業所数、従業者数

令和3年6月1日現在の本県の民営事業所（以下「事業所」という。）数は48,940事業所（事業内容等不詳の事業所を含む事業所数は51,725事業所）で、全国に占める割合は0.9%（全国36位）である。

また、本県の従業者数は446,103人、全国に占める割合は0.8%（全国36位）となっている。

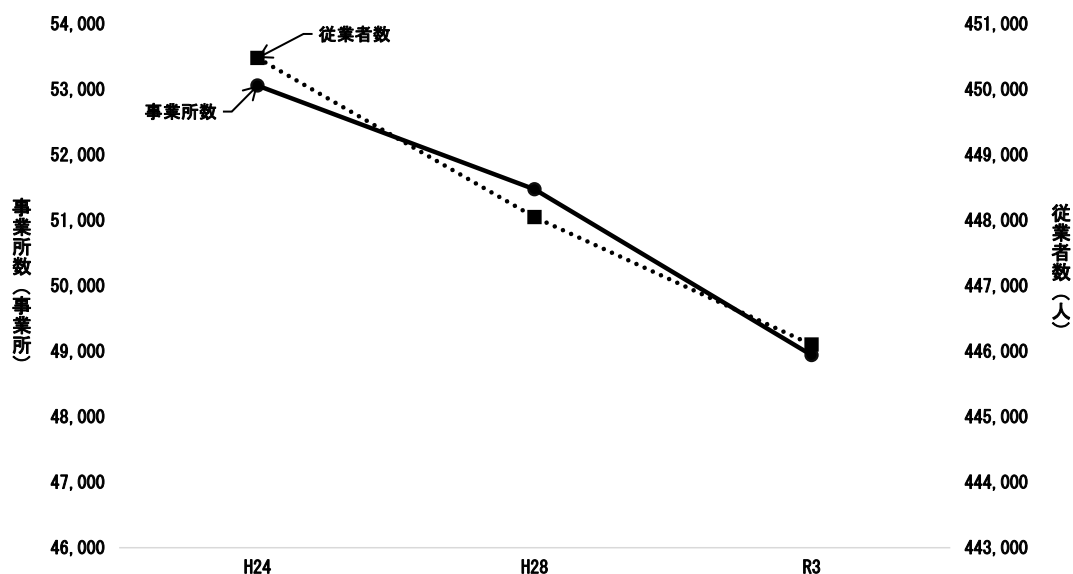
表1 事業所数（宮崎県・全国）

		R3	全国に占める割合	順位	【参考】 H28	増減数	増減率
事業内容等 不詳を除く	宮崎県	事業所 48,940	% 0.9	位 36	事業所 51,475	事業所 ▲ 2,535	% ▲ 4.9
	全 国	5,156,063			5,340,783	▲ 184,720	▲ 3.5
事業内容等 不詳を含む	宮崎県	事業所 51,725	% 0.9	位 35	事業所 52,663	事業所 ▲ 938	% ▲ 1.8
	全 国	5,844,088			5,578,975	265,113	4.8

表2 従業者数（宮崎県・全国）

	R3	全国に占める割合	順位	【参考】 H28	増減数	増減率
宮崎県	人 446,103	% 0.8	位 36	人 448,050	人 ▲ 1,947	% ▲ 0.4
全 国	57,949,915			56,872,826	1,077,089	1.9

図1 事業所数及び従業者数の推移



注1：「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

表3 都道府県別事業所数、従業者数

	事業所数						従業者数					
	R3			【参考】H28			R3			【参考】H28		
	事業所	割合	順位	事業所	増減数	増減率	人	割合	順位	人	増減数	増減率
全国	5,156,063	—	—	5,340,783	▲ 184,720	▲ 3.5	57,949,915	—	—	56,872,826	1,077,089	1.9
北海道	216,124	4.2	6	224,718	▲ 8,594	▲ 3.8	2,165,390	3.7	8	2,165,925	▲ 535	▲ 0.0
青森県	55,113	1.1	30	58,116	▲ 3,003	▲ 5.2	498,418	0.9	33	498,988	▲ 570	▲ 0.1
岩手県	54,598	1.1	31	58,415	▲ 3,817	▲ 6.5	518,167	0.9	31	525,264	▲ 7,097	▲ 1.4
宮城県	95,305	1.8	16	97,974	▲ 2,669	▲ 2.7	1,031,186	1.8	14	1,006,886	24,300	2.4
秋田県	44,883	0.9	40	48,769	▲ 3,886	▲ 8.0	398,671	0.7	39	413,719	▲ 15,048	▲ 3.6
山形県	52,141	1.0	33	55,778	▲ 3,637	▲ 6.5	465,796	0.8	35	475,435	▲ 9,639	▲ 2.0
福島県	81,677	1.6	19	85,960	▲ 4,283	▲ 5.0	802,365	1.4	21	806,130	▲ 3,765	▲ 0.5
茨城県	108,602	2.1	13	115,007	▲ 6,405	▲ 5.6	1,237,104	2.1	12	1,233,534	3,570	0.3
栃木県	80,062	1.6	20	86,088	▲ 6,026	▲ 7.0	870,819	1.5	19	878,756	▲ 7,937	▲ 0.9
群馬県	85,003	1.6	18	90,231	▲ 5,228	▲ 5.8	895,790	1.5	17	900,921	▲ 5,131	▲ 0.6
埼玉県	230,278	4.5	5	240,542	▲ 10,264	▲ 4.3	2,602,009	4.5	5	2,575,544	26,465	1.0
千葉県	182,689	3.5	9	188,740	▲ 6,051	▲ 3.2	2,151,386	3.7	9	2,114,259	37,127	1.8
東京都	628,239	12.2	1	621,671	6,568	1.1	9,952,059	16.6	1	9,005,511	586,548	6.5
神奈川県	285,325	5.5	4	287,942	▲ 2,617	▲ 0.9	3,525,744	6.1	4	3,464,316	61,428	1.8
新潟県	103,861	2.0	14	112,948	▲ 9,087	▲ 8.0	1,004,621	1.7	15	1,025,630	▲ 21,009	▲ 2.0
富山県	48,987	1.0	35	51,785	▲ 2,798	▲ 5.4	508,283	0.9	32	504,554	3,729	0.7
石川県	56,437	1.1	29	59,770	▲ 3,333	▲ 5.6	543,315	0.9	29	541,030	2,285	0.4
福井県	39,859	0.8	42	41,644	▲ 1,785	▲ 4.3	373,974	0.6	41	377,238	▲ 3,264	▲ 0.9
山梨県	40,814	0.8	41	42,387	▲ 1,573	▲ 3.7	366,260	0.6	42	366,320	▲ 60	▲ 0.0
長野県	99,571	1.9	15	106,030	▲ 6,459	▲ 6.1	929,898	1.6	16	928,421	1,477	0.2
岐阜県	92,210	1.8	17	98,527	▲ 6,317	▲ 6.4	884,667	1.5	18	880,780	3,887	0.4
静岡県	161,789	3.1	10	172,031	▲ 10,242	▲ 6.0	1,730,955	3.0	10	1,712,983	17,972	1.0
愛知県	299,232	5.8	3	309,867	▲ 10,635	▲ 3.4	3,818,542	6.6	3	3,749,904	68,638	1.8
三重県	72,261	1.4	23	77,168	▲ 4,907	▲ 6.4	798,103	1.4	22	801,130	▲ 3,027	▲ 0.4
滋賀県	53,748	1.0	32	55,262	▲ 1,514	▲ 2.7	617,826	1.1	25	602,600	15,226	2.5
京都府	110,564	2.1	12	113,774	▲ 3,210	▲ 2.8	1,148,970	2.0	13	1,137,370	11,600	1.0
大阪府	384,332	7.5	2	392,940	▲ 8,608	▲ 2.2	4,528,208	7.8	2	4,393,139	135,069	3.1
兵庫県	203,113	3.9	8	214,169	▲ 11,056	▲ 5.2	2,221,469	3.8	7	2,203,102	18,367	0.8
奈良県	45,583	0.9	37	46,487	▲ 904	▲ 1.9	444,916	0.8	37	434,135	10,781	2.5
和歌山県	45,309	0.9	38	47,247	▲ 1,938	▲ 4.1	378,695	0.7	40	377,605	1,090	0.3
鳥取県	24,242	0.5	47	25,718	▲ 1,476	▲ 5.7	230,055	0.4	47	230,700	▲ 645	▲ 0.3
島根県	32,637	0.6	46	34,987	▲ 2,350	▲ 6.7	296,596	0.5	45	290,557	6,039	2.1
岡山県	78,646	1.5	21	79,870	▲ 1,224	▲ 1.5	838,870	1.4	20	820,656	18,214	2.2
広島県	122,155	2.4	11	127,057	▲ 4,902	▲ 3.9	1,303,624	2.2	11	1,302,074	1,550	0.1
山口県	56,452	1.1	28	61,385	▲ 4,933	▲ 8.0	574,259	1.0	27	577,791	▲ 3,532	▲ 0.6
徳島県	34,119	0.7	44	35,853	▲ 1,734	▲ 4.8	304,530	0.5	44	301,688	2,842	0.9
香川県	44,943	0.9	39	46,774	▲ 1,831	▲ 3.9	431,667	0.7	38	429,167	2,500	0.6
愛媛県	59,710	1.2	26	63,310	▲ 3,600	▲ 5.7	562,714	1.0	28	566,761	▲ 4,047	▲ 0.7
高知県	33,064	0.6	45	35,366	▲ 2,302	▲ 6.5	275,477	0.5	46	279,196	▲ 3,719	▲ 1.3
福岡県	210,530	4.1	7	212,649	▲ 2,119	▲ 1.0	2,309,989	4.0	6	2,236,269	73,720	3.3
佐賀県	35,815	0.7	43	37,479	▲ 1,664	▲ 4.4	360,756	0.6	43	354,733	6,023	1.7
長崎県	58,382	1.1	27	62,028	▲ 3,646	▲ 5.9	525,985	0.9	30	536,782	▲ 10,797	▲ 2.0
熊本県	72,744	1.4	22	72,144	600	0.8	716,508	1.2	23	690,992	25,516	3.7
大分県	50,589	1.0	34	52,973	▲ 2,384	▲ 4.5	475,034	0.8	34	483,206	▲ 8,172	▲ 1.7
宮崎県	48,940	0.9	36	51,475	▲ 2,535	▲ 4.9	446,103	0.8	36	448,050	▲ 1,947	▲ 0.4
鹿児島県	71,793	1.4	24	75,443	▲ 3,650	▲ 4.8	659,951	1.1	24	669,456	▲ 9,505	▲ 1.4
沖縄県	63,593	1.2	25	64,285	▲ 692	▲ 1.1	584,191	1.0	26	553,619	30,572	5.5

注1：「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

(2) 市町村別、広域市町村圏別事業所数及び従業者数

市町村別に事業所数及び従業者数をみると、宮崎市が事業所数 17,594 事業所（県全体の 36.0%）、従業者数 177,165 人（同 39.7%）と集中しており、宮崎市、都城市、延岡市の上位 3 市で本県の 6 割以上を占めている。

表 4 市町村別事業所数、従業者数

	事業所数					従業者数				
	R3		【参考】 H28	増減数	増減率	R3		【参考】 H28	増減数	増減率
	事業所	割合	事業所	事業所	%	人	%	人	人	%
宮崎県	48,940	100.0	51,475	▲ 2,535	▲ 4.9	446,103	100.0	448,050	▲ 1,947	▲ 0.4
宮崎市	17,594	36.0	18,092	▲ 498	▲ 2.8	177,165	39.7	175,273	1,892	1.1
都城市	7,681	15.7	7,864	▲ 183	▲ 2.3	75,280	16.9	74,954	326	0.4
延岡市	5,828	11.9	6,273	▲ 445	▲ 7.1	50,926	11.4	50,991	▲ 65	▲ 0.1
日南市	2,437	5.0	2,661	▲ 224	▲ 8.4	19,078	4.3	19,834	▲ 756	▲ 3.8
小林市	2,182	4.5	2,318	▲ 136	▲ 5.9	17,528	3.9	18,060	▲ 532	▲ 2.9
日向市	3,283	6.7	3,464	▲ 181	▲ 5.2	27,270	6.1	27,296	▲ 26	▲ 0.1
串間市	732	1.5	826	▲ 94	▲ 11.4	5,072	1.1	5,494	▲ 422	▲ 7.7
西都市	1,232	2.5	1,392	▲ 160	▲ 11.5	10,733	2.4	10,511	222	2.1
えびの市	873	1.8	1,001	▲ 128	▲ 12.8	6,634	1.5	7,064	▲ 430	▲ 6.1
三股町	820	1.7	856	▲ 36	▲ 4.2	6,709	1.5	6,951	▲ 242	▲ 3.5
高原町	340	0.7	363	▲ 23	▲ 6.3	2,308	0.5	2,311	▲ 3	▲ 0.1
国富町	715	1.5	752	▲ 37	▲ 4.9	7,228	1.6	7,688	▲ 460	▲ 6.0
綾町	300	0.6	347	▲ 47	▲ 13.5	2,018	0.5	2,303	▲ 285	▲ 12.4
高鍋町	963	2.0	1,089	▲ 126	▲ 11.6	8,234	1.8	7,841	393	5.0
新富町	601	1.2	644	▲ 43	▲ 6.7	4,613	1.0	4,861	▲ 248	▲ 5.1
西米良村	78	0.2	88	▲ 10	▲ 11.4	398	0.1	419	▲ 21	▲ 5.0
木城町	219	0.4	199	20	10.1	1,399	0.3	2,226	▲ 827	▲ 37.2
川南町	627	1.3	610	17	2.8	6,486	1.5	6,037	449	7.4
都農町	334	0.7	382	▲ 48	▲ 12.6	2,646	0.6	2,737	▲ 91	▲ 3.3
門川町	637	1.3	713	▲ 76	▲ 10.7	5,847	1.3	5,790	57	1.0
諸塚村	77	0.2	84	▲ 7	▲ 8.3	521	0.1	549	▲ 28	▲ 5.1
椎葉村	138	0.3	145	▲ 7	▲ 4.8	695	0.2	749	▲ 54	▲ 7.2
美郷町	245	0.5	266	▲ 21	▲ 7.9	1,357	0.3	1,627	▲ 270	▲ 16.6
高千穂町	685	1.4	726	▲ 41	▲ 5.6	4,111	0.9	4,466	▲ 355	▲ 7.9
日之影町	168	0.3	180	▲ 12	▲ 6.7	1,055	0.2	1,247	▲ 192	▲ 15.4
五ヶ瀬町	151	0.3	140	11	7.9	792	0.2	771	21	2.7

注1：「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

次に、広域市町村圏別にみると、事業所数は「宮崎東諸県」が18,609事業所（県全体の38.0%）と最も多く、次いで「宮崎県北部」11,212事業所（同22.9%）、「都城北諸県」8,501事業所（同17.4%）などとなっている。

従業者数も「宮崎東諸県」が186,411人（同41.8%）と最も多く、次いで「宮崎県北部」92,574人（同20.8%）、「都城北諸県」81,989人（同18.4%）などとなっている。

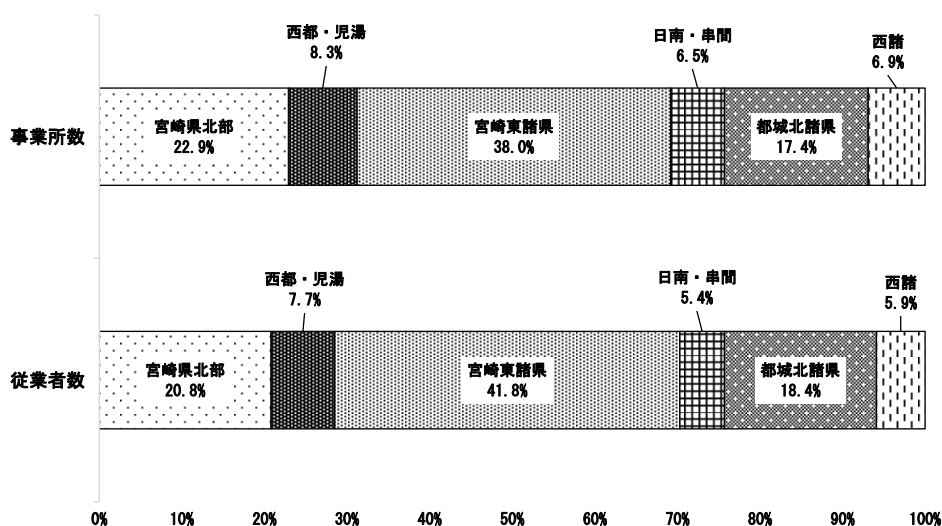
表5 広域市町村圏別事業所数、従業者数

圏域名	事業所数					従業者数				
	R3		【参考】 H28	増減数	増減率	R3		【参考】 H28	増減数	増減率
	事業所	割合				人	割合			
宮崎県全域	48,940	100.0	51,475	▲2,535	▲4.9	446,103	100.0	448,050	▲1,947	▲0.4
宮崎県北部	11,212	22.9	11,991	▲779	▲6.5	92,574	20.8	93,486	▲912	▲1.0
西都・児湯	4,054	8.3	4,404	▲350	▲7.9	34,509	7.7	34,632	▲123	▲0.4
宮崎東諸県	18,609	38.0	19,191	▲582	▲3.0	186,411	41.8	185,264	1,147	0.6
日南・串間	3,169	6.5	3,487	▲318	▲9.1	24,150	5.4	25,328	▲1,178	▲4.7
都城北諸県	8,501	17.4	8,720	▲219	▲2.5	81,989	18.4	81,905	84	0.1
西諸	3,395	6.9	3,682	▲287	▲7.8	26,470	5.9	27,435	▲965	▲3.5

注1：「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

図2 広域市町村圏別事業所数、従業者数の県に占める割合



圏域名：構成市町村名

宮崎県北部：延岡市、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

西都・児湯：西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町

宮崎東諸県：宮崎市、国富町、綾町

日南・串間：日南市、串間市

都城北諸県：都城市、三股町

西諸：小林市、えびの市、高原町

(3) 産業大分類別事業所数及び従業者数

① 事業所数

産業大分類別に事業所数をみると、「卸売業，小売業」が 12,268 事業所（事業所全体の 25.1%）と最も多く、次いで「宿泊業，飲食サービス業」6,509 事業所（同 13.3%）、「建設業」4,860 事業所（同 9.9%）などとなっており、上位 3 業種で全産業の 48.3%を占めている。

平成 28 年と比較すると、「農業，林業」が 219 事業所増加と最も増加しており、「卸売業，小売業」が 1,361 事業所減少と最も減少している。

また、産業大分類別の構成比を全国と比較すると、「農林漁業」や「宿泊業，飲食サービス業」などの割合が高く、「不動産業，物品賃貸業」、「製造業」などの割合が低い。

② 従業者数

産業大分類別に従業者数をみると、「卸売業，小売業」が 90,051 人（従業者全体の 20.2%）と最も多く、次いで「医療，福祉」が 83,484 人（同 18.7%）、「製造業」が 59,990 人（同 13.4%）などとなっており、上位 3 業種で全産業の 52.3%を占めている。

平成 28 年と比較すると、「サービス業（他に分類されないもの）」が 4,299 人増加と最も増加しており、「宿泊業，飲食サービス業」が 5,257 人減少と最も減少している。

また、産業大分類別の構成比を全国と比較すると、「医療，福祉」や「農林漁業」などの割合が高く、「製造業」や「学術研究，専門・技術サービス業」などの割合が低い。

③ 1 事業所当たり従業者数

産業大分類別に 1 事業所当たり従業者数をみると、「運輸業，郵便業」が 22.8 人と最も多く、次いで「製造業」が 21.5 人、「医療，福祉」が 17.4 人となっている。一方、「不動産業，物品賃貸業」が 3.6 人と最も少なく、次いで「生活関連サービス業，娯楽業」が 3.8 人、「学術研究，専門・技術サービス業」が 4.9 人となっている。

平成 28 年と比較すると、「鉱業，採石業，砂利採取業」が 2.4 人増加と最も増加しており、「電気・ガス・熱供給・水道業」が 25.9 人減少と最も減少している。

表6 産業大分類別事業所数及び従業者数

産業大分類	事業所数				従業者数				1事業所当たり従業者数		
	R3	R3 構成比	【参考】 H28	増減数	R3	R3 構成比	【参考】 H28	増減数	R3	【参考】 H28	増減数
	事業所		事業所		事業所		事業所		事業所	事業所	
A~R 全産業(S公務を除く)	48,940	100.0	51,475	▲ 2,535	446,103	100.0	448,050	▲ 1,947	9.1	8.7	0.4
A~B 農林漁業(個人経営を除く)	1,329	2.7	1,105	224	13,896	3.1	12,412	1,484	10.5	11.2	▲ 0.7
A 農業、林業	1,148	2.3	929	219	11,843	2.7	10,489	1,354	10.3	11.3	▲ 1.0
B 漁業	181	0.4	175	6	2,053	0.5	1,920	133	11.3	11.0	0.3
C 鉱業、採石業、砂利採取業	12	0.0	11	1	114	0.0	78	36	9.5	7.1	2.4
D 建設業	4,860	9.9	5,184	▲ 324	34,153	7.7	35,124	▲ 971	7.0	6.8	0.2
E 製造業	2,795	5.7	3,046	▲ 251	59,990	13.4	60,717	▲ 727	21.5	19.9	1.6
F 電気・ガス・熱供給・水道業	151	0.3	61	90	1,621	0.4	2,232	▲ 611	10.7	36.6	▲ 25.9
G 情報通信業	347	0.7	311	36	5,534	1.2	5,383	151	15.9	17.3	▲ 1.4
H 運輸業、郵便業	892	1.8	901	▲ 9	20,321	4.6	19,784	537	22.8	22.0	0.8
I 卸売業、小売業	12,268	25.1	13,629	▲ 1,361	90,051	20.2	94,952	▲ 4,901	7.3	7.0	0.3
J 金融業、保険業	853	1.7	852	1	10,185	2.3	9,937	248	11.9	11.7	0.2
K 不動産業、物品賃貸業	2,029	4.1	1,864	165	7,239	1.6	7,102	137	3.6	3.8	▲ 0.2
L 学術研究、専門・技術サービス業	2,006	4.1	1,913	93	9,904	2.2	8,884	1,020	4.9	4.6	0.3
M 宿泊業、飲食サービス業	6,509	13.3	7,353	▲ 844	35,959	8.1	41,216	▲ 5,257	5.5	5.6	▲ 0.1
N 生活関連サービス業、娯楽業	4,815	9.8	5,205	▲ 390	18,477	4.1	20,079	▲ 1,602	3.8	3.9	▲ 0.1
O 教育、学習支援業	1,474	3.0	1,565	▲ 91	15,683	3.5	13,371	2,312	10.6	8.5	2.1
P 医療、福祉	4,794	9.8	4,633	161	83,484	18.7	80,139	3,345	17.4	17.3	0.1
Q 複合サービス事業	413	0.8	457	▲ 44	4,598	1.0	6,045	▲ 1,447	11.1	13.2	▲ 2.1
R サービス業(他に分類されないもの)	3,393	6.9	3,385	8	34,894	7.8	30,595	4,299	10.3	9.0	1.3
事業内容等不詳を含む事業所数	51,725	-	52,663	▲ 938	-	-	-	-	-	-	-

注1：「事業所数」、「従業者数」及び「1事業所当たり従業者数」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：農林漁業間の格付不能分を含むため、A~B農林漁業の値とA,Bの各分類毎の値の合計は一致しない場合がある。

注3：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

図3 産業大分類別事業所数の推移

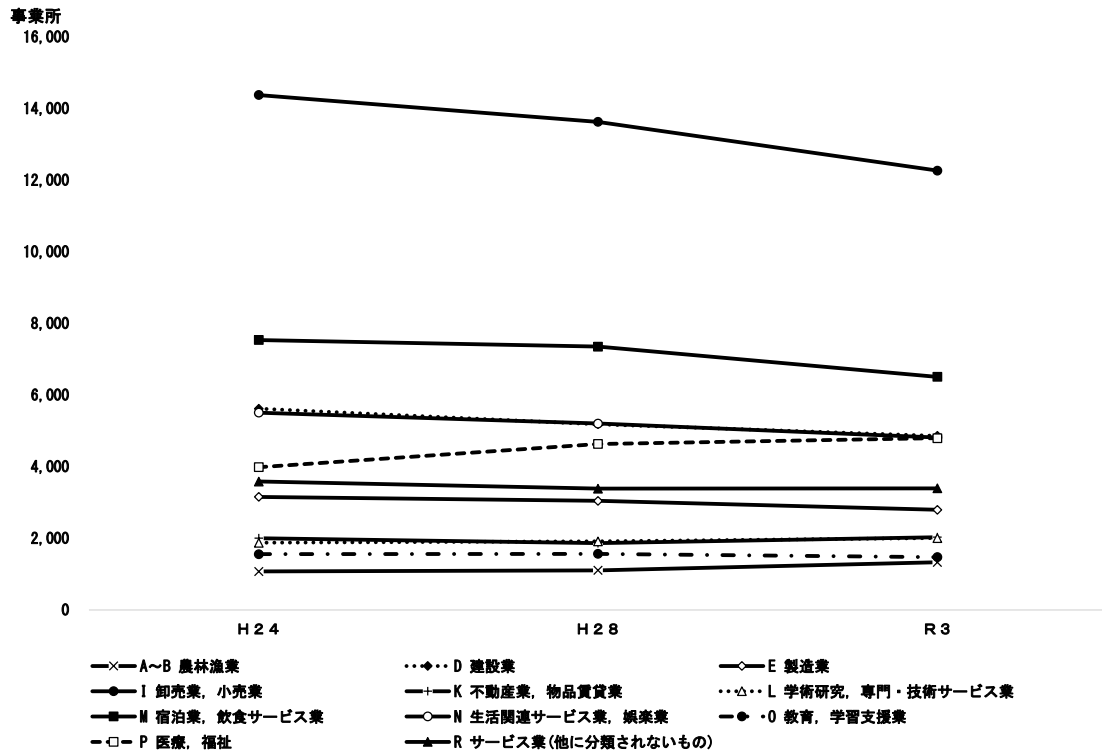
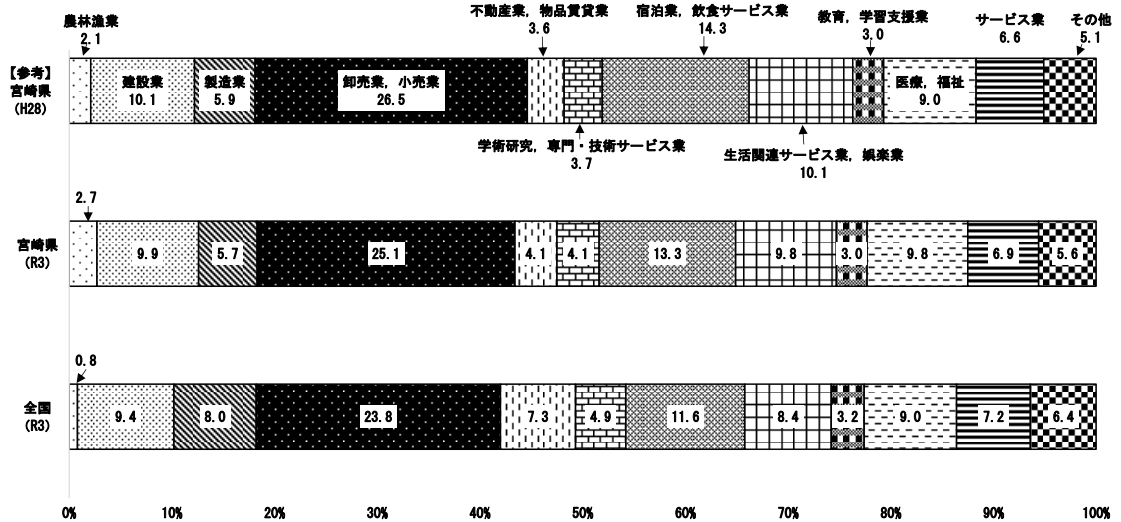


図4 産業大分類別事業所数の構成比



注1: 「その他」は「鉱業, 採石業, 砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業, 郵便業」、「金融業, 保険業」及び「複合サービス事業」の計である。

注2: 「事業所数の構成比」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注3: 時系列比較を行う際には留意が必要(「利用上の注意」参照)。

図5 産業大分類別従業者数の推移

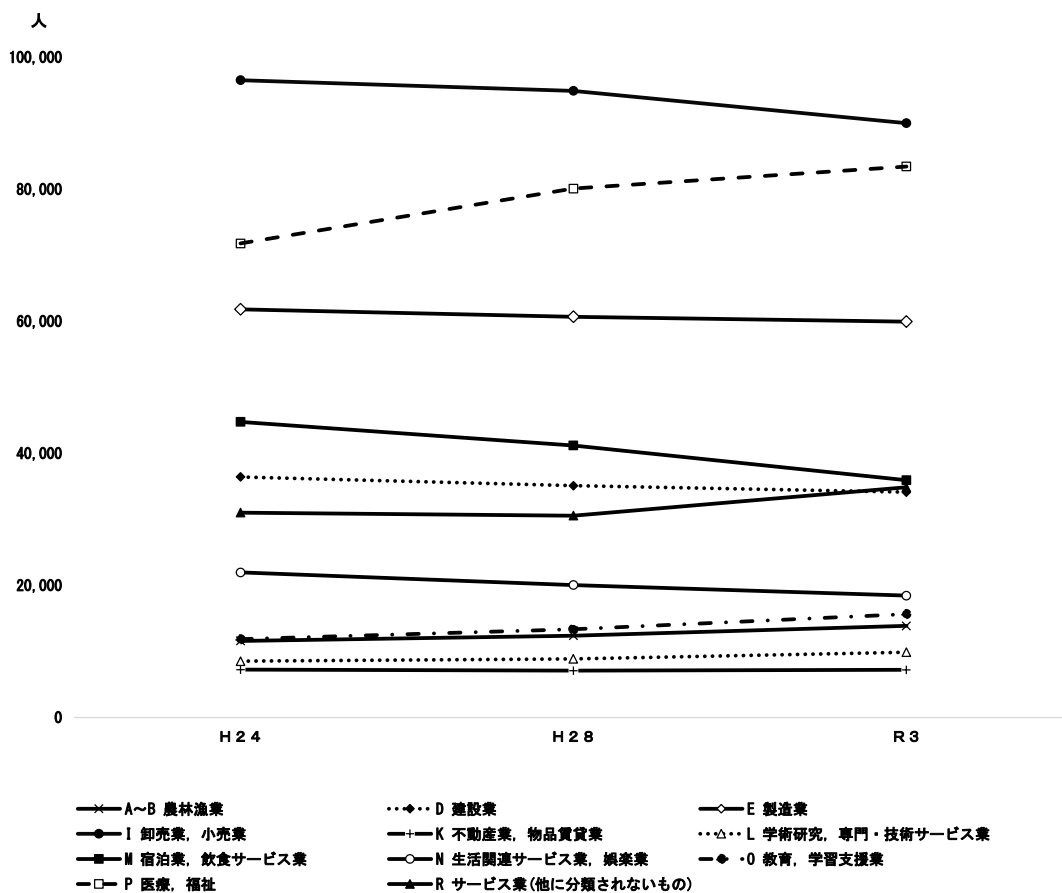
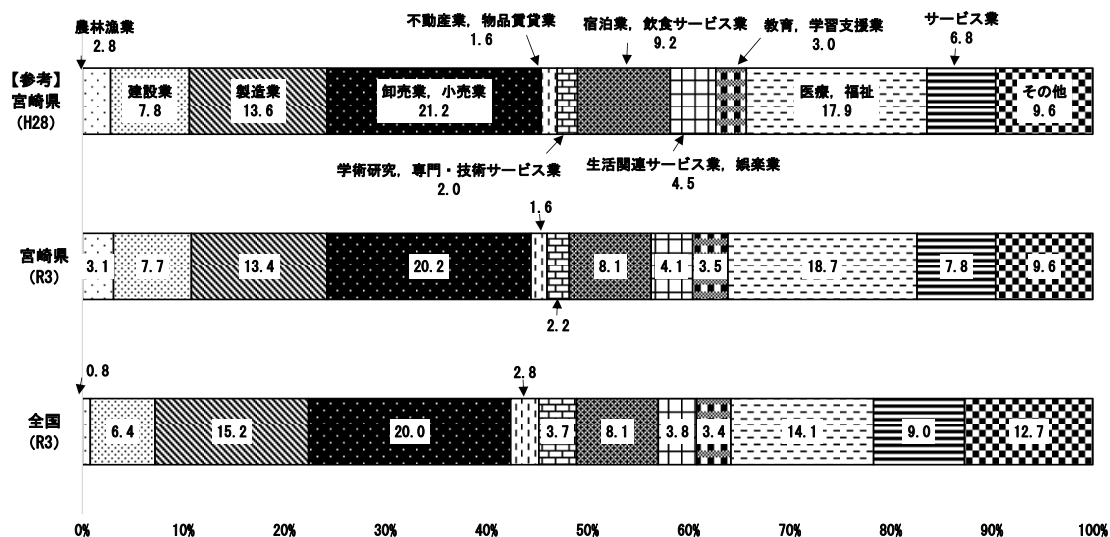


図6 産業大分類別従業者数の構成比



注1：「その他」は、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「金融業、保険業」及び「複合サービス事業」の計である。

注2：「従業者数の構成比」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注3：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

④ 従業者数の男女構成

産業大分類別に男女別従業者数をみると、男性は「卸売業，小売業」が43,783人と最も多く、次いで「製造業」が37,512人、「建設業」が27,929人などとなっている。女性は「医療，福祉」が60,728人と最も多く、次いで「卸売業，小売業」が45,824人、「製造業」が22,478人などとなっている。

また、産業大分類別、男女別に従業者数の構成比をみると、男性は「漁業」（85.1%）が最も高く、次いで「運輸業，郵便業」（85.0%）、「電気・ガス・熱供給・水道業」（82.4%）、「建設業」（81.8%）などとなっており、女性は「医療，福祉」（73.6%）が最も高く、次いで「教育，学習支援業」（63.3%）、「宿泊業，飲食サービス業」（58.4%）などとなっている。

表7 産業大分類別、男女別従業者数

産業大分類	R3						【参考】H28				
	従業者数			構成比			従業者数			構成比	
	総数	男性	女性	男性	女性	総数	男性	女性	男性	女性	
											人
A～R 全産業（S公務を除く）	446,103	229,128	214,956	51.6	48.4	448,050	229,150	217,226	51.3	48.7	
A～B 農林漁業（個人経営を除く）	13,896	9,525	4,371	68.5	31.5	12,412	8,424	3,976	67.9	32.1	
A 農業，林業	11,843	7,778	4,065	65.7	34.3	10,489	6,806	3,671	65.0	35.0	
B 漁業	2,053	1,747	306	85.1	14.9	1,920	1,616	304	84.2	15.8	
C 鉱業，採石業，砂利採取業	114	85	29	74.6	25.4	78	62	16	79.5	20.5	
D 建設業	34,153	27,929	6,215	81.8	18.2	35,124	28,849	6,034	82.7	17.3	
E 製造業	59,990	37,512	22,478	62.5	37.5	60,717	37,345	23,319	61.6	38.4	
F 電気・ガス・熱供給・水道業	1,621	1,335	286	82.4	17.6	2,232	1,954	278	87.5	12.5	
G 情報通信業	5,534	3,621	1,877	65.9	34.1	5,383	3,680	1,657	69.0	31.0	
H 運輸業，郵便業	20,321	17,265	3,056	85.0	15.0	19,784	17,020	2,711	86.3	13.7	
I 卸売業，小売業	90,051	43,783	45,824	48.9	51.1	94,952	46,183	48,481	48.8	51.2	
J 金融業，保険業	10,185	4,453	5,515	44.7	55.3	9,937	4,543	5,387	45.8	54.2	
K 不動産業，物品賃貸業	7,239	4,260	2,974	58.9	41.1	7,102	4,049	3,043	57.1	42.9	
L 学術研究，専門・技術サービス業	9,904	6,371	3,523	64.4	35.6	8,884	5,840	3,017	65.9	34.1	
M 宿泊業，飲食サービス業	35,959	14,856	20,885	41.6	58.4	41,216	15,889	25,144	38.7	61.3	
N 生活関連サービス業，娯楽業	18,477	7,802	10,611	42.4	57.6	20,079	8,503	11,413	42.7	57.3	
O 教育，学習支援業	15,683	5,755	9,928	36.7	63.3	13,371	5,598	7,742	42.0	58.0	
P 医療，福祉	83,484	21,745	60,728	26.4	73.6	80,139	19,707	60,152	24.7	75.3	
Q 複合サービス事業	4,598	2,729	1,869	59.4	40.6	6,045	3,653	2,392	60.4	39.6	
R サービス業（他に分類されないもの）	34,894	20,102	14,787	57.6	42.4	30,595	17,851	12,464	58.9	41.1	

注1：総数には男女別が不詳の従業者を含むため、男性と女性の合計は総数と一致しない場合がある。

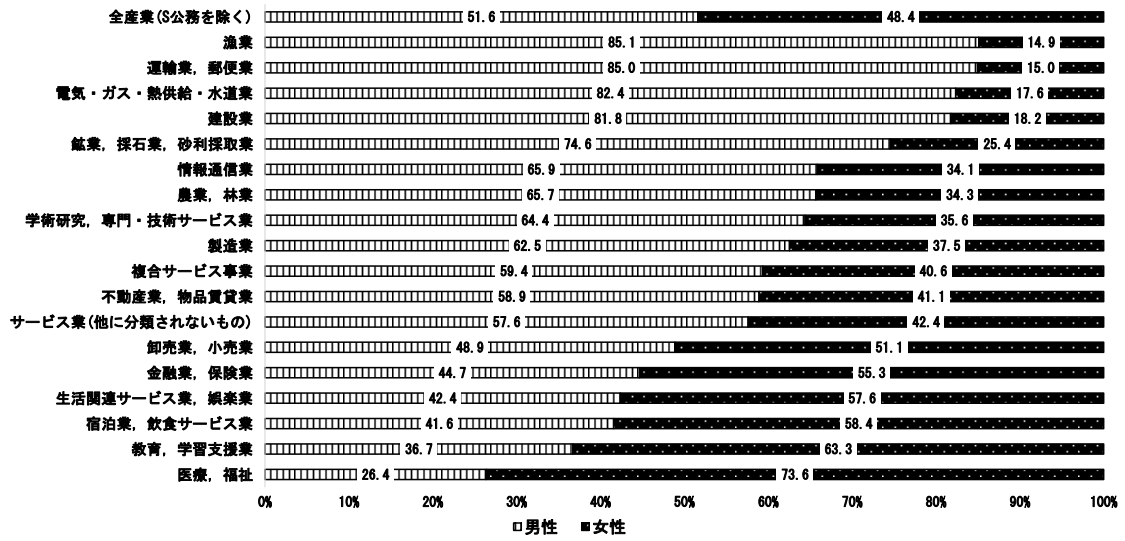
注2：「男女別従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注3：農林漁業間の格付不能分を含むため、A～B農林漁業の値とA,Bの各分類毎の値の合計は一致しない場合がある。

注4：構成比については「男女別」が不詳の者を除いて算出している。

注5：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

図7 産業大分類別、男女別従業者数の構成比



(4) 経営組織別の事業所数及び従業者数

① 事業所数

経営組織別に事業所数をみると、「個人経営」が18,909事業所（事業所全体の38.6%）、「法人」が29,524事業所（同60.3%）、「法人」のうち「会社」は24,115事業所（同49.3%）となっている。平成28年と比較すると、「個人経営」の事業所数は4,036減少し、「法人」の事業所数は1,502増加している。

② 従業者数

経営組織別に従業者数をみると、「個人経営」が47,996人（従業者全体の10.8%）、「法人」が396,370人（同88.8%）、「法人」のうち「会社」は298,074人（同66.8%）となっている。平成28年と比較すると、「個人経営」の従業者数は13,355人減少し、「法人」の従業者数は11,104人増加している。

表8 経営組織別の事業所数及び従業者数

経営組織	R3				【参考】H28				増減			
	事業所数	割合	従業者数	割合	事業所数	割合	従業者数	割合	事業所数	増減率	従業者数	増減率
	事業所	%	人	%	事業所	%	人	%	事業所	%	人	%
総数	48,940	100.0	446,103	100.0	51,475	100.0	448,050	100.0	▲2,535	▲4.9	▲1,947	▲0.4
個人経営	18,909	38.6	47,996	10.8	22,945	44.6	61,351	13.7	▲4,036	▲17.6	▲13,355	▲21.8
法人	29,524	60.3	396,370	88.8	28,022	54.4	385,266	86.0	1,502	5.4	11,104	2.9
会社	24,115	49.3	298,074	66.8	22,928	44.5	292,076	65.2	1,187	5.2	5,998	2.1
会社以外の法人	5,409	11.1	98,296	22.0	5,094	9.9	93,190	20.8	315	6.2	5,106	5.5
法人でない団体	507	1.0	1,737	0.4	508	1.0	1,433	0.3	▲1	▲0.2	304	21.2

注1：「事業所数」及び「従業者数」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

(5) 従業上の地位別従業者数

① 従業者数

従業上の地位別に従業者数の内訳をみると、「雇用者」が 389,095 人（従業者全体の 87.2%）、「有給役員」が 33,204 人（同 7.4%）、「個人業主・無給の家族従業者」が 23,804 人（同 5.3%）となっている。

② 雇用者数

「雇用者」の内訳をみると、「無期雇用者」が 284,944 人（従業者全体の 63.9%）、「無期雇用者以外の雇用者※」が 104,151 人（同 23.3%）となっている。

男女別に従業者に占める雇用者の割合をみると、「無期雇用者」は男性が 67.9%、女性が 59.5%であるのに対し、「無期雇用者以外の雇用者」は、男性が 16.0%、女性が 31.1%と女性の割合が高い。

※「無期雇用者以外の雇用者」とは、「（常用雇用者）有期雇用者」と「臨時雇用者」を合算したものである。

表 9 従業上の地位別、男女別従業者数

従業上の地位	R 3						【参考】H 2 8					
	従業者数 (人)			構成比			従業者数 (人)			構成比		
	男性	女性	総数	男性	女性	男性	女性	総数	男性	女性		
合計	446,103	229,128	214,956	100.0	100.0	100.0	448,050	229,150	217,226	100.0	100.0	100.0
個人業主・無給の家族従業者	23,804	13,795	10,009	5.3	6.0	4.7	29,348	16,862	12,446	6.6	7.4	5.7
有給役員	33,204	22,979	10,214	7.4	10.0	4.8	29,717	20,836	8,881	6.6	9.1	4.1
雇用者	389,095	192,354	194,733	87.2	84.0	90.6	388,985	191,452	195,899	86.8	83.5	90.2
無期雇用者	284,944	155,643	127,837	63.9	67.9	59.5	-	-	-	-	-	-
無期雇用者以外の雇用者	104,151	36,711	66,896	23.3	16.0	31.1	-	-	-	-	-	-

注 1：「従業者数」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注 2：総数には男女別が不詳の従業者を含むため、男性と女性の合計は総数と一致しない場合がある。

注 3：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

注 4：調査事項の変更に伴い、雇用者の内訳が異なるため、平成 28 年の数値は表章していない（「利用上の注意」参照）。

③ 無期雇用者及び無期雇用者以外の雇用者

産業大分類別に雇用者に占める「無期雇用者」の割合をみると、「電気・ガス・熱供給・水道業」が90.2%と最も高く、次いで「金融業、保険業」が88.8%、「建設業」が87.4%などとなっている。

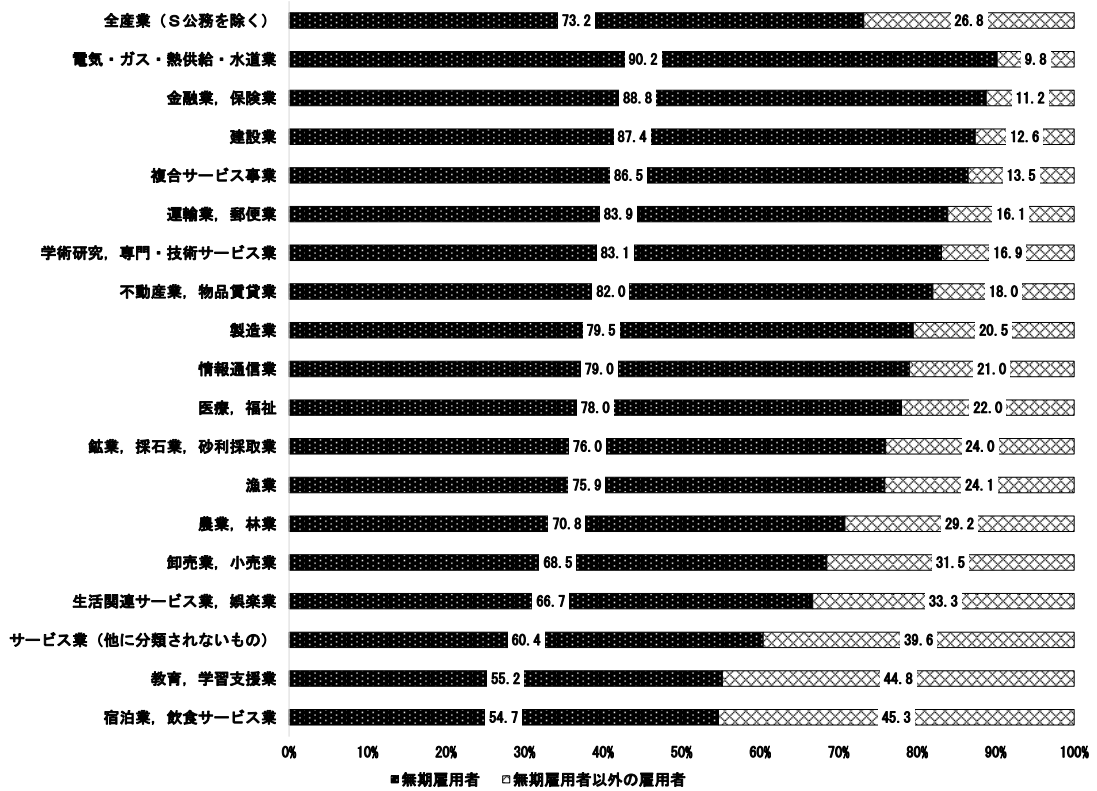
「無期雇用者以外の雇用者」は、「宿泊業、飲食サービス業」が45.3%と最も高く、次いで「教育、学習支援業」が44.8%、「サービス業（他に分類されないもの）」が39.6%などとなっている。

表10 産業大分類別無期雇用者及び無期雇用者以外の雇用者数

産業大分類	雇用者数			産業ごとの雇用者に占める割合	
		無期雇用者	無期雇用者以外の雇用者	無期雇用者	無期雇用者以外の雇用者
	人	人	人	%	%
A～R全産業（S公務を除く）	389,095	284,944	104,151	73.2	26.8
A～B農林漁業（個人経営を除く）	11,498	8,218	3,280	71.5	28.5
A農業、林業	9,915	7,017	2,898	70.8	29.2
B漁業	1,583	1,201	382	75.9	24.1
C鉱業、採石業、砂利採取業	100	76	24	76.0	24.0
D建設業	26,019	22,745	3,274	87.4	12.6
E製造業	55,981	44,502	11,479	79.5	20.5
F電気・ガス・熱供給・水道業	1,410	1,272	138	90.2	9.8
G情報通信業	5,191	4,101	1,090	79.0	21.0
H運輸業、郵便業	19,443	16,315	3,128	83.9	16.1
I卸売業、小売業	77,481	53,091	24,390	68.5	31.5
J金融業、保険業	9,529	8,462	1,067	88.8	11.2
K不動産業、物品賃貸業	4,549	3,732	817	82.0	18.0
L学術研究、専門・技術サービス業	7,434	6,177	1,257	83.1	16.9
M宿泊業、飲食サービス業	28,894	15,798	13,096	54.7	45.3
N生活関連サービス業、娯楽業	13,425	8,956	4,469	66.7	33.3
O教育、学習支援業	14,373	7,940	6,433	55.2	44.8
P医療、福祉	78,333	61,061	17,272	78.0	22.0
Q複合サービス事業	4,251	3,675	576	86.5	13.5
Rサービス業（他に分類されないもの）	31,184	18,823	12,361	60.4	39.6

注：「雇用者数」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

図8 産業大分類別無期雇用者及び無期雇用者以外の雇用者の構成比



(6) 従業者規模別事業所数及び従業者数

① 事業所数

従業者規模別に事業所数をみると、「1～4人」が28,680事業所（事業所全体の58.6%）と最も多く、次いで「5～9人」が9,429事業所（同19.3%）、「10～19人」が5,821事業所（同11.9%）などとなっており、19人以下の事業所が全体の89.8%を占めている。

② 従業者数

従業者規模別に従業者数をみると、「10～19人」が77,979人（従業者全体の17.5%）と最も多く、次いで「5～9人」が62,196人（同13.9%）、「1～4人」が58,936人（同13.2%）などとなっており、19人以下の事務所が全体の44.6%を占めている。

表 1 1 従業者規模別事業所数及び従業者数

従業者規模	R 3				【参考】H 2 8			
	事業所数		従業者数		事業所数		従業者数	
	事業所	割合	人	割合	事業所	割合	人	割合
総数	48,940	100.0	446,103	100.0	51,475	100.0	448,050	100.0
1～4人	28,680	58.6	58,936	13.2	30,734	59.7	64,181	14.3
5～9人	9,429	19.3	62,196	13.9	9,927	19.3	65,426	14.6
10～19人	5,821	11.9	77,979	17.5	6,004	11.7	80,661	18.0
20～29人	1,991	4.1	47,302	10.6	1,985	3.8	47,316	10.6
30～49人	1,500	3.0	56,328	12.6	1,406	2.7	52,856	11.8
50～99人	844	1.7	57,453	12.9	785	1.5	53,524	11.9
100～199人	241	0.5	32,694	7.3	252	0.5	33,915	7.6
200～299人	77	0.2	18,621	4.2	82	0.2	19,476	4.3
300人以上	70	0.1	34,594	7.8	63	0.1	30,695	6.9
出向・派遣従事者のみ	287	0.6	—	—	237	0.5	—	—

注1：総数には出向・派遣従業者のみの事業所を含む。

注2：「事業所数」及び「従業者数」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注3：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

(7) 開設時期別事業所数

平成 28 年以降に開設された事業所数は 6,295 事業所（事業所全体の 13.0%）となっている。

これを産業大分類別にみると、「卸売業，小売業」が 1,455 事業所（全産業の 23.1%）と最も多く、次いで「宿泊業，飲食サービス業」が 1,370 事業所（同 21.8%）、「医療，福祉」が 740 事業所（同 11.8%）などとなっている。

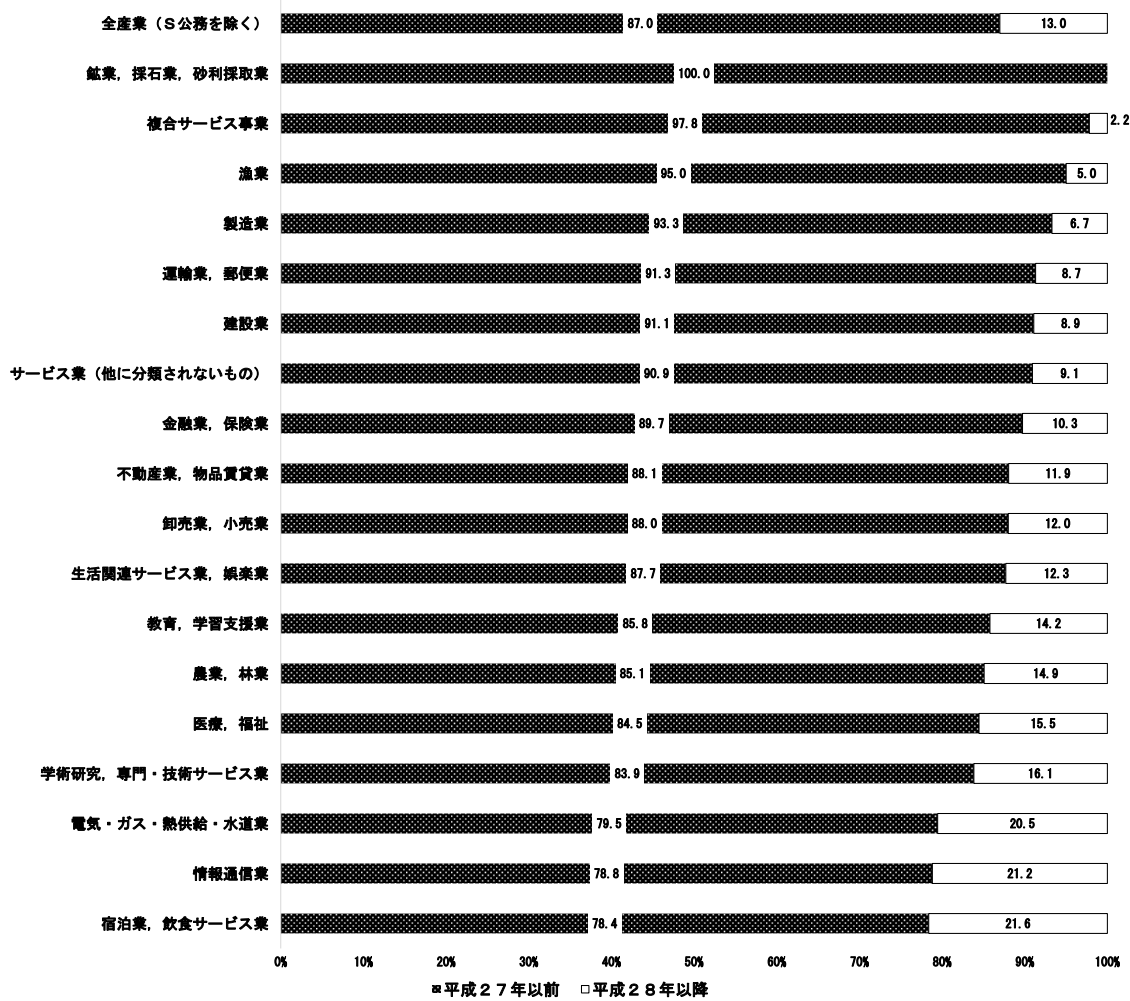
また、平成 28 年以降に開設された事業所数の割合を産業大分類別に、産業別事業所数に占める割合で見ると、最も高いのは「宿泊業，飲食サービス業」（21.6%）で、次いで、「情報通信業」（21.2%）、「電気・ガス・熱供給・水道業」（20.5%）などとなっており、最も低いのは「鉱業，採石業，砂利採取業」（0.0%）で、次いで、「複合サービス事業」（2.2%）、「漁業」（5.0%）などとなっている。

表 1 2 産業大分類別、開設時期別事業所数

産業大分類	開設時期別事業所数		平成 2 7 年以前			平成 2 8 年以降		
	事業所	合計に占める割合 (%)	事業所		合計に占める割合 (%)	事業所	合計に占める割合 (%)	合計に占める割合 (%)
			事業所	業別事業所数に占める割合 (%)				
A~R全産業（S公務を除く）	48,427	100.0	42,132	87.0	100.0	6,295	13.0	100.0
A~B農林漁業（個人経営を除く）	1,309	2.7	1,132	86.5	2.7	177	13.5	2.8
A農業、林業	1,128	2.3	960	85.1	2.3	168	14.9	2.7
B漁業	181	0.4	172	95.0	0.4	9	5.0	0.1
C鉱業、採石業、砂利採取業	12	0.0	12	100.0	0.0	0	0.0	0.0
D建設業	4,849	10.0	4,418	91.1	10.5	431	8.9	6.8
E製造業	2,778	5.7	2,592	93.3	6.2	186	6.7	3.0
F電気・ガス・熱供給・水道業	151	0.3	120	79.5	0.3	31	20.5	0.5
G情報通信業	345	0.7	272	78.8	0.6	73	21.2	1.2
H運輸業、郵便業	887	1.8	810	91.3	1.9	77	8.7	1.2
I卸売業、小売業	12,143	25.1	10,688	88.0	25.4	1,455	12.0	23.1
J金融業、保険業	839	1.7	753	89.7	1.8	86	10.3	1.4
K不動産業、物品賃貸業	2,019	4.2	1,778	88.1	4.2	241	11.9	3.8
L学術研究、専門・技術サービス業	1,994	4.1	1,672	83.9	4.0	322	16.1	5.1
M宿泊業、飲食サービス業	6,339	13.1	4,969	78.4	11.8	1,370	21.6	21.8
N生活関連サービス業、娯楽業	4,760	9.8	4,175	87.7	9.9	585	12.3	9.3
O教育、学習支援業	1,464	3.0	1,256	85.8	3.0	208	14.2	3.3
P医療、福祉	4,768	9.8	4,028	84.5	9.6	740	15.5	11.8
Q複合サービス事業	413	0.9	404	97.8	1.0	9	2.2	0.1
Rサービス業（他に分類されないもの）	3,357	6.9	3,053	90.9	7.2	304	9.1	4.8

注：「開設時期別事業所数」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

図9 産業大分類別、開設時期別事業所数の構成比



(8) 他からの出向・派遣従業者がいる事業所数及び他からの出向・派遣従業者数

① 他からの出向・派遣従業者がいる事業所数

全産業における「他からの出向・派遣従業者がいる事業所数」は1,595事業所で、事業所数全体の3.3%を占めている。

産業大分類別に、産業ごとの事業所数に占める他からの出向・派遣従業者がいる事業所の割合をみると、「電気・ガス・熱供給・水道業」が16.6%と最も高く、次いで「製造業」が9.4%、「鉱業、採石業、砂利採取業」が8.3%などとなっている。

表 1 3 産業大分類別他からの出向・派遣従業者がいる事業所数

産業大分類	R 3			【参考】H 2 8		増減数	増減率
	事業所数			事業所数			
	事業所	他からの出向・派遣従業者がいる事業所数	産業ごとの他からの出向・派遣従業者がいる事業所の割合	事業所	他からの出向・派遣従業者がいる事業所数		
A~R全産業（S公務を除く）	48,940	1,595	3.3	51,475	1,500	95	6.3
A~B農林漁業（個人経営を除く）	1,329	80	6.0	1,105	48	32	66.7
A農業、林業	1,148	73	6.4	929	43	30	69.8
B漁業	181	7	3.9	175	5	2	40.0
C鉱業、採石業、砂利採取業	12	1	8.3	11	-	-	-
D建設業	4,860	78	1.6	5,184	82	▲ 4	▲ 4.9
E製造業	2,795	264	9.4	3,046	230	34	14.8
F電気・ガス・熱供給・水道業	151	25	16.6	61	22	3	13.6
G情報通信業	347	26	7.5	311	38	▲ 12	▲ 31.6
H運輸業、郵便業	892	65	7.3	901	89	▲ 24	▲ 27.0
I卸売業、小売業	12,268	370	3.0	13,629	344	26	7.6
J金融業、保険業	853	54	6.3	852	61	▲ 7	▲ 11.5
K不動産業、物品賃貸業	2,029	58	2.9	1,864	39	19	48.7
L学術研究、専門・技術サービス業	2,006	45	2.2	1,913	36	9	25.0
M宿泊業、飲食サービス業	6,509	69	1.1	7,353	65	4	6.2
N生活関連サービス業、娯楽業	4,815	69	1.4	5,205	65	4	6.2
O教育、学習支援業	1,474	35	2.4	1,565	53	▲ 18	▲ 34.0
P医療、福祉	4,794	185	3.9	4,633	177	8	4.5
Q複合サービス事業	413	4	1.0	457	5	▲ 1	▲ 20.0
Rサービス業（他に分類されないもの）	3,393	167	4.9	3,385	146	21	14.4

注1：「他からの出向・派遣従業者がいる事業所数」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：農林漁業間の格付不能分を含むため、A~B農林漁業の値とA,Bの各分類毎の値の合計は一致しない場合がある。

注3：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

② 他からの出向・派遣従業者数

全産業における「他からの出向・派遣従業者数」は8,284人となっており、「事業従事者*」に占める「他からの出向・派遣従業者数比率」は1.8%となっている。

産業大分類別に他からの出向・派遣従業者数比率をみると、「電気・ガス・熱供給・水道業」が11.0%と最も高く、次いで「製造業」が5.5%、「情報通信業」が5.1%などとなっている。

※「従業者数」から「他への出向・派遣従業者数」を除き、「他からの出向・派遣従業者数」を加えた数

表14 産業大分類別他からの出向・派遣従業者数

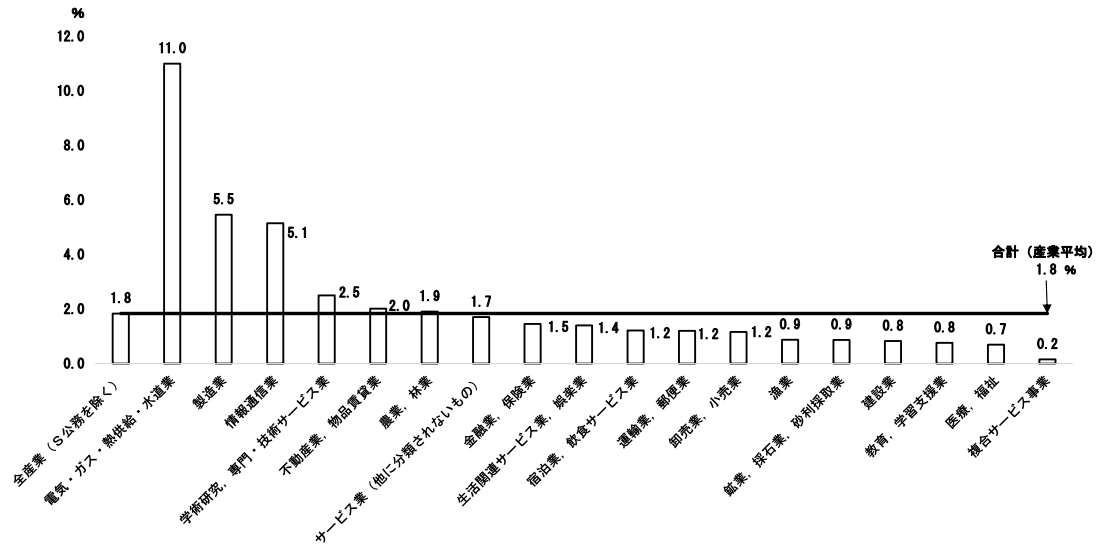
産業大分類	R3					【参考】H28				
	事業従事者数	従業者数	うち他への出向・派遣従業者数	他からの出向・派遣従業者数	他からの出向・派遣従業者数比率	事業従事者数	従業者数	うち他への出向・派遣従業者数	他からの出向・派遣従業者数	他からの出向・派遣従業者数比率
	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%
A～R全産業（S公務を除く）	451,125	446,103	3,262	8,284	1.8	452,212	448,050	3,391	7,553	1.7
A～B農林漁業（個人経営を除く）	14,120	13,896	24	248	1.8	12,549	12,412	16	153	1.2
A農業、林業	12,056	11,843	17	230	1.9	10,602	10,489	15	128	1.2
B漁業	2,064	2,053	7	18	0.9	1,944	1,920	1	25	1.3
C鉱業、採石業、砂利採取業	115	114	-	1	0.9	78	78	-	-	-
D建設業	34,346	34,153	90	283	0.8	35,341	35,124	80	297	0.8
E製造業	62,955	59,990	472	3,437	5.5	63,444	60,717	493	3,220	5.1
F電気・ガス・熱供給・水道業	1,664	1,621	140	183	11.0	2,280	2,232	15	63	2.8
G情報通信業	5,793	5,534	39	298	5.1	5,639	5,383	47	303	5.4
H運輸業、郵便業	20,482	20,321	85	246	1.2	19,933	19,784	106	255	1.3
I卸売業、小売業	90,927	90,051	179	1,055	1.2	95,664	94,952	224	936	1.0
J金融業、保険業	10,298	10,185	37	150	1.5	10,048	9,937	34	145	1.4
K不動産業、物品賃貸業	7,360	7,239	27	148	2.0	7,209	7,102	38	145	2.0
L学術研究、専門・技術サービス業	10,092	9,904	64	252	2.5	8,986	8,884	68	170	1.9
M宿泊業、飲食サービス業	36,341	35,959	59	441	1.2	41,401	41,216	49	234	0.6
N生活関連サービス業、娯楽業	18,672	18,477	67	262	1.4	20,319	20,079	67	307	1.5
O教育、学習支援業	15,779	15,683	24	120	0.8	13,471	13,371	12	112	0.8
P医療、福祉	83,969	83,484	95	580	0.7	80,579	80,139	101	541	0.7
Q複合サービス事業	4,593	4,598	12	7	0.2	6,036	6,045	19	10	0.2
Rサービス業（他に分類されないもの）	33,619	34,894	1,848	573	1.7	29,235	30,595	2,022	662	2.3

注1：「事業従事者数」、「従業者数」、「うち他への出向・派遣従業者数」、「他からの出向・派遣従業者数」及び「他からの出向・派遣従業者数比率」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：農林漁業間の格付不能分を含むため、A～B農林漁業の値とA,Bの各分類毎の値の合計は一致しない場合がある。

注3：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

図10 産業大分類別他からの出向・派遣従業者数比率



注：「他からの出向・派遣従業者数比率」は必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

(9) 売上（収入）金額（参考値）

産業大分類別に事業所単位の売上（収入）金額をみると、「卸売業，小売業」が3兆11億4,000万円（売上（収入）金額全体の34.0%）と最も多く、次いで「製造業」が1兆7,362億7,300万円（同19.7%）などとなっており、上位2業種で全体の53.7%を占めている。

平成27年と比較すると、「製造業」が681億7,700万円増加と最も増加しており、「生活関連サービス業，娯楽業」が1,344億7,900万円減少と最も減少している。

表15 産業大分類別売上（収入）金額

産業大分類	R 2		【参考】H 2 7		増減数
	売上(収入)金額		売上(収入)金額		売上(収入)金額
	百万円	割合	百万円	割合	
	百万円	%	百万円	%	百万円
A~R 全産業（S公務を除く）	8,814,532	100.0	8,873,364	100.0	▲ 58,832
A~B 農林漁業（個人経営を除く）	251,912	2.9	309,939	3.5	▲ 58,027
C 鉱業，採石業，砂利採取業	1,259	0.0	974	0.0	285
D 建設業 ※	706,700	8.0	643,946	7.3	62,754
E 製造業	1,736,273	19.7	1,668,096	18.8	68,177
F 電気・ガス・熱供給・水道業 ※	45,626	0.5	28,210	0.3	17,416
G 情報通信業 ※	95,084	1.1	85,914	1.0	9,170
H 運輸業，郵便業 ※	264,473	3.0	239,816	2.7	24,657
I 卸売業，小売業	3,001,140	34.0	3,038,721	34.2	▲ 37,581
J 金融業，保険業 ※	576,621	6.5	604,050	6.8	▲ 27,429
K 不動産業，物品賃貸業	141,975	1.6	112,637	1.3	29,338
L 学術研究，専門・技術サービス業	104,283	1.2	93,185	1.1	11,098
M 宿泊業，飲食サービス業	136,195	1.5	181,910	2.1	▲ 45,715
N 生活関連サービス業，娯楽業	231,007	2.6	365,486	4.1	▲ 134,479
O 教育，学習支援業 ※	80,742	0.9	77,282	0.9	3,460
P 医療，福祉	1,178,335	13.4	1,122,797	12.7	55,538
Q 複合サービス事業 ※	51,896	0.6	109,383	1.2	▲ 57,487
R サービス業(他に分類されないもの) ※	211,010	2.4	191,017	2.2	19,993

注1：※印の産業大分類の売上金額は、総務省が企業に関する集計の売上金額から算出した参考値、その他の産業大分類は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

(10) 純付加価値額

産業大分類別に事業所単位の純付加価値額をみると、「製造業」が3,300億6,900万円（純付加価値額全体の19.0%）と最も多く、次いで「卸売業，小売業」が3,275億3700万円（同18.9%）などとなっており、上位2業種で全体の37.9%を占めている。

平成27年と比較すると、「製造業」が310億1,600万円増加と最も増加しており、「卸売業，小売業」が266億6,800万円減少と最も減少している。

表16 産業大分類別純付加価値額

産業大分類	R2		【参考】H27		増減数
	純付加価値額	割合	純付加価値額	割合	純付加価値額
	百万円	%	百万円	%	百万円
A～R 全産業（S公務を除く）	1,733,497	100.0	1,693,218	100.0	40,279
A～B 農林漁業（個人経営を除く）	46,923	2.7	47,504	2.8	▲ 581
A 農業，林業	36,533	2.1	37,405	2.2	▲ 872
B 漁業	10,390	0.6	10,099	0.6	291
C 鉱業，採石業，砂利採取業	369	0.0	186	0.0	183
D 建設業	172,370	9.9	148,194	8.8	24,176
E 製造業	330,069	19.0	299,053	17.7	31,016
F 電気・ガス・熱供給・水道業	28,596	1.6	34,851	2.1	▲ 6,255
G 情報通信業	32,997	1.9	33,548	2.0	▲ 551
H 運輸業，郵便業	87,721	5.1	75,073	4.4	12,648
I 卸売業，小売業	327,537	18.9	354,205	20.9	▲ 26,668
J 金融業，保険業	67,476	3.9	85,073	5.0	▲ 17,597
K 不動産業，物品賃貸業	34,916	2.0	29,412	1.7	5,504
L 学術研究，専門・技術サービス業	45,403	2.6	35,522	2.1	9,881
M 宿泊業，飲食サービス業	52,558	3.0	70,214	4.1	▲ 17,656
N 生活関連サービス業，娯楽業	36,373	2.1	46,182	2.7	▲ 9,809
O 教育，学習支援業	50,265	2.9	41,080	2.4	9,185
P 医療，福祉	310,830	17.9	289,009	17.1	21,821
Q 複合サービス事業	19,458	1.1	30,769	1.8	▲ 11,311
R サービス業（他に分類されないもの）	89,635	5.2	73,342	4.3	16,293

注1：事業所単位の付加価値額は、企業単位で把握した付加価値額を事業従業者数により傘下事業所にあん分することにより、全産業について集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

2 企業等に関する集計

(1) 産業大分類別企業等数、事業所数及び従業者数

令和3年6月1日現在の本県の企業等*数は35,677企業で、事業所数は43,332事業所、従業者数は361,410人となっている。

産業大分類別に企業等数をみると、「卸売業、小売業」が7,687企業（全産業の21.5%）と最も多く、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が5,256企業（同14.7%）、「建設業」が4,414企業（同12.4%）などとなっている。

従業者数をみると、「医療、福祉」が77,595人（全産業の21.5%）と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が62,657人（同17.3%）、「製造業」が45,890人（12.7%）などとなっている。

※企業等とは、事業・活動を行う法人（外国の会社を除く。）又は個人経営の事業所をいう。個人経営であって同一の経営者が複数の事業所を経営している場合は、それらはまとめて一つの企業等となる。

表17 産業大分類別企業等数、事業所数及び従業者数

産業大分類	企業等数				事業所数				従業者数			
	R3		【参考】H28		R3		【参考】H28		R3		【参考】H28	
	企業	割合	企業	割合	事業所	割合	事業所	割合	人	割合	人	割合
A~R 全産業（S公務を除く）	35,677	100.0	38,235	100.0	43,332	100.0	45,594	100.0	361,410	100.0	360,138	100.0
A~B 農林漁業（個人経営を除く）	1,006	2.8	803	2.1	1,225	2.8	995	2.2	12,862	3.6	11,176	3.1
A 農業、林業	842	2.4	641	1.7	1,042	2.4	824	1.8	10,833	3.0	9,351	2.6
B 漁業	164	0.5	162	0.4	183	0.4	171	0.4	2,029	0.6	1,825	0.5
C 鉱業、採石業、砂利採取業	11	0.0	10	0.0	17	0.0	14	0.0	182	0.1	157	0.0
D 建設業	4,414	12.4	4,701	12.3	4,739	10.9	5,034	11.0	32,616	9.0	33,485	9.3
E 製造業	2,211	6.2	2,471	6.5	2,686	6.2	2,920	6.4	45,890	12.7	46,894	13.0
F 電気・ガス・熱供給・水道業	115	0.3	22	0.1	125	0.3	32	0.1	704	0.2	559	0.2
G 情報通信業	196	0.5	163	0.4	297	0.7	251	0.6	4,242	1.2	4,060	1.1
H 運輸業、郵便業	448	1.3	454	1.2	679	1.6	689	1.5	14,677	4.1	14,024	3.9
I 卸売業、小売業	7,687	21.5	8,881	23.2	9,799	22.6	11,085	24.3	62,657	17.3	67,191	18.7
J 金融業、保険業	297	0.8	310	0.8	545	1.3	561	1.2	5,133	1.4	5,426	1.5
K 不動産業、物品賃貸業	1,721	4.8	1,548	4.0	1,881	4.3	1,711	3.8	6,338	1.8	6,263	1.7
L 学術研究、専門・技術サービス業	1,672	4.7	1,627	4.3	1,839	4.2	1,751	3.8	8,868	2.5	7,893	2.2
M 宿泊業、飲食サービス業	5,256	14.7	6,029	15.8	5,846	13.5	6,578	14.4	27,410	7.6	31,593	8.8
N 生活関連サービス業、娯楽業	3,938	11.0	4,339	11.3	4,445	10.3	4,869	10.7	13,625	3.8	15,229	4.2
O 教育、学習支援業	1,088	3.0	1,238	3.2	1,379	3.2	1,450	3.2	16,164	4.5	13,489	3.7
P 医療、福祉	3,100	8.7	3,076	8.0	4,643	10.7	4,426	9.7	77,595	21.5	73,991	20.5
Q 複合サービス事業	145	0.4	152	0.4	503	1.2	545	1.2	5,981	1.7	6,562	1.8
R サービス業（他に分類されないもの）	2,372	6.6	2,411	6.3	2,684	6.2	2,683	5.9	26,466	7.3	22,146	6.1

注1：「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

(2) 経営組織別企業等数、事業所数及び従業者数

経営組織別に企業等数をみると、「法人」が16,965企業（企業等全体の47.6%）、「個人経営」が18,712企業（同52.4%）となっている。

事業所数をみると、「法人」が24,484事業所（事業所全体の56.5%）、「個人経営」が18,848事業所（同43.5%）となっている。

従業者数をみると、「法人」が313,672人（従業者全体の86.8%）、「個人経営」が47,738人（同13.2%）となっている。

表 1 8 経営組織別企業等数、事業所数及び従業者数

		総数	個人経営	法人	法人	
					会社企業	会社以外の法人
R 3	企業等数（企業）	35,677	18,712	16,965	14,039	2,926
	割合（%）	100.0	52.4	47.6	39.4	8.2
	事業所数（事業所）	43,332	18,848	24,484	19,383	5,101
	割合（%）	100.0	43.5	56.5	44.7	11.8
	従業者数（人）	361,410	47,738	313,672	220,200	93,472
	割合（%）	100.0	13.2	86.8	60.9	25.9
【参考】 H 2 8	企業等数（企業）	38,235	22,643	15,592	12,885	2,707
	割合（%）	100.0	59.2	40.8	33.7	7.1
	事業所数（事業所）	45,594	22,871	22,723	17,975	4,748
	割合（%）	100.0	50.2	49.8	39.4	10.4
	従業者数（人）	360,138	61,025	299,113	211,269	87,844
	割合（%）	100.0	16.9	83.1	58.7	24.4

(3) 売上高及び純付加価値額

① 産業大分類別の状況

令和2年の本県の企業等の売上高は5兆8,245億9,700万円、純付加価値額は1兆3,148億5,800万円となっている。

産業大分類別に売上高をみると、「卸売業、小売業」が1兆6,969億5,500万円（全産業の29.1%）と最も多く、次いで「製造業」が1兆1,012億2,200万円（同18.9%）、「医療、福祉」が9,044億900万円（同15.5%）などとなっている。

1企業当たり売上高をみると、「複合サービス事業」が8億7,022万円と最も多く、次いで「製造業」が5億841万円、「運輸業、郵便業」が4億1,164万円などとなっている。

純付加価値額をみると、「医療、福祉」が2,745億8,700万円（全産業の20.9%）と最も多く、次いで「製造業」が2,464億2,200万円（同18.7%）、「卸売業、小売業」が2,035億9,700万円（同15.5%）などとなっている。

1企業当たり純付加価値額をみると、「複合サービス事業」が1億7,009万円と最も多く、次いで「情報通信業」が1億2,734万円、「運輸業、郵便業」が1億2,513万円などとなっている。

表19 産業大分類別売上高及び純付加価値額

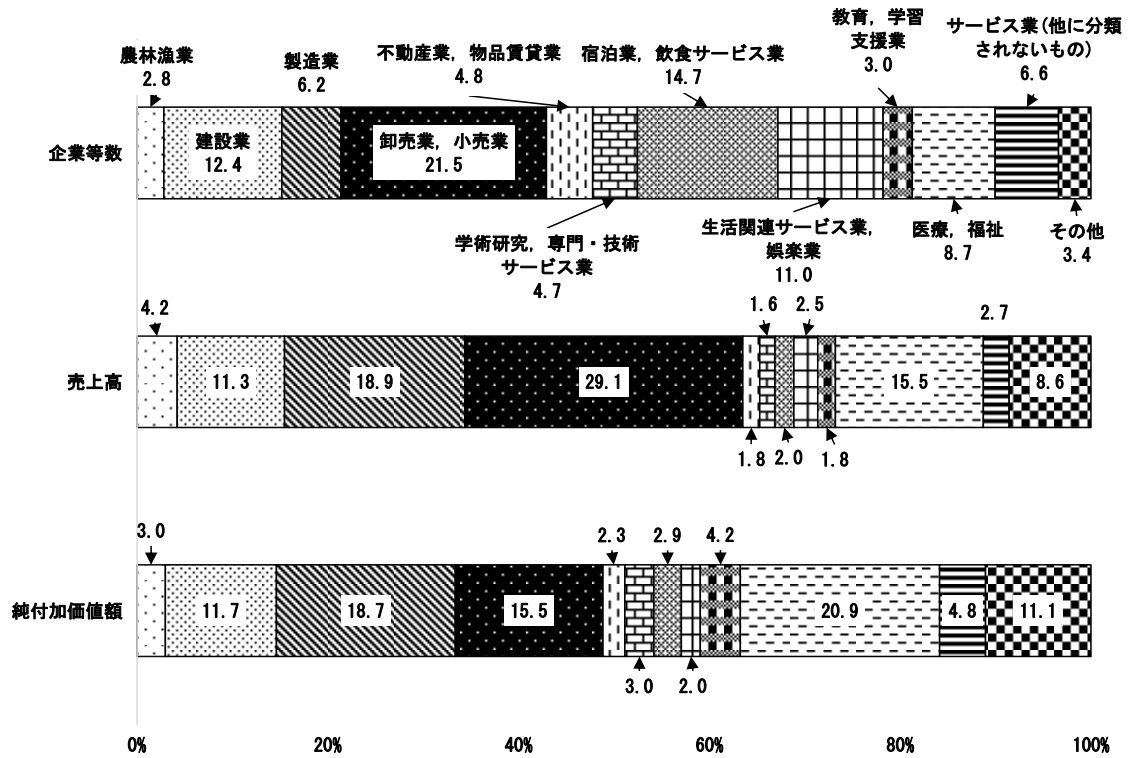
産業大分類	令和2年						【参考】平成27年			
	売上高		1企業当たり売上高	純付加価値額		1企業当たり純付加価値額	売上高		純付加価値額	
	百万円	合計に占める割合 %		百万円	合計に占める割合 %		百万円	合計に占める割合 %	百万円	合計に占める割合 %
A～R 全産業（S公務を除く）	5,824,597	100.0	16,987	1,314,858	100.0	3,785	5,677,123	100.0	1,237,607	100.0
A～B 農林漁業（個人経営を除く。）	244,743	4.2	24,872	38,975	3.0	3,953	190,411	3.4	40,834	3.3
A 農業、林業	204,050	3.5	24,854	28,372	2.2	3,452	155,124	2.7	31,197	2.5
B 漁業	40,693	0.7	24,965	10,603	0.8	6,465	35,288	0.6	9,636	0.8
C 鉱業、採石業、砂利採取業	3,152	0.1	28,658	558	0.0	5,071	2,899	0.1	360	0.0
D 建設業	655,434	11.3	15,144	153,285	11.7	3,541	603,659	10.6	131,594	10.6
E 製造業	1,101,222	18.9	50,841	246,422	18.7	11,377	1,033,380	18.2	183,159	14.8
F 電気・ガス・熱供給・水道業	25,925	0.4	23,147	6,676	0.5	5,961	22,960	0.4	6,214	0.5
G 情報通信業	71,842	1.2	37,614	24,321	1.8	12,734	67,430	1.2	23,755	1.9
H 運輸業、郵便業	178,650	3.1	41,164	54,305	4.1	12,513	175,806	3.1	54,579	4.4
I 卸売業、小売業	1,696,955	29.1	22,605	203,597	15.5	2,710	1,726,530	30.4	219,104	17.7
J 金融業、保険業	94,478	1.6	33,267	34,815	2.6	12,173	107,478	1.9	52,046	4.2
K 不動産業、物品賃貸業	103,616	1.8	6,246	30,035	2.3	1,803	88,596	1.6	25,519	2.1
L 学術研究、専門・技術サービス業	93,577	1.6	5,737	39,952	3.0	2,432	74,958	1.3	29,429	2.4
M 宿泊業、飲食サービス業	114,652	2.0	2,294	37,969	2.9	759	132,278	2.3	53,359	4.3
N 生活関連サービス業、娯楽業	145,969	2.5	3,806	26,290	2.0	685	157,943	2.8	27,832	2.2
O 教育、学習支援業	107,539	1.8	10,174	55,083	4.2	5,201	91,101	1.6	44,458	3.6
P 医療、福祉	904,409	15.5	29,878	274,587	20.9	9,056	896,088	15.8	261,700	21.1
Q 複合サービス事業	126,183	2.2	87,022	24,663	1.9	17,009	179,901	3.2	35,014	2.8
R サービス業（他に分類されないもの）	156,249	2.7	8,138	63,324	4.8	2,728	125,706	2.2	48,650	3.9

注1：「売上高」、「1企業当たり売上高」、「純付加価値額」及び「1企業当たり純付加価値額」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計した。

注2：農林漁業間の格付不能分を含むため、A～B農林漁業の値とA,Bの各分類毎の値の合計は一致しない場合がある。

注3：時系列比較を行う際には留意が必要（利用上の注意参照）。

図 1 1 産業大分類別企業等数、売上高及び純付加価値額の構成比



注：「その他」は、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「金融業、保険業」及び「複合サービス事業」の計である。

② 経営組織別の状況

経営組織別に売上高をみると、「法人」が5兆5,803億2,900万円（全企業等の95.8%）、「個人経営」が2,442億6,800万円（同4.2%）となっている。

純付加価値額をみると、「法人」が1兆2,249億8,900万円（全企業等の93.2%）、「個人経営」が898億6,800万円（同6.8%）となっている。

表20 経営組織別企業等数、売上高及び純付加価値額

経営組織	企業等数		売上高		純付加価値額	
	企業等数	合計に占める割合	売上高	合計に占める割合	純付加価値額	合計に占める割合
	企業	%	百万円	%	百万円	%
総数	35,677	100.0	5,824,597	100.0	1,314,858	100.0
法人	16,965	47.6	5,580,329	95.8	1,224,989	93.2
会社企業	14,039	39.4	4,085,568	70.1	884,674	67.3
会社以外の法人	2,926	8.2	1,494,761	25.7	340,315	25.9
個人経営	18,712	52.4	244,268	4.2	89,868	6.8

注1：「売上高」及び「純付加価値額」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計した。

注2：時系列比較を行う際には留意が必要（利用上の注意参照）。

産業大分類別に「法人」及び「個人経営」の企業等数の割合をみると、「法人」は「電気・ガス・熱供給・水道業」（99.1%）、「情報通信業」（89.8%）、「運輸業，郵便業」（84.6%）などで高くなっている。一方、「個人経営」は「生活関連サービス業，娯楽業」（87.5%）、「宿泊業，飲食サービス業」（84.1%）、「教育，学習支援業」（71.2%）などで高くなっている。

同様に売上高の割合をみると、全産業で「法人」の方が高くなっている。

表 2 1 産業大分類別、経営組織別企業等数及び売上高

産業大分類	企業等数	産業ごとの企業等数 に占める割合		売上高	産業ごとの企業等数 に占める割合	
		法人	個人経営		法人	個人経営
		企業	%		%	百万円
A~R 全産業（S公務を除く）	35,677	47.6	52.4	5,824,597	95.8	4.2
A~B 農林漁業（個人経営を除く）	1,006	-	-	244,743	-	-
A 農業，林業	842	-	-	204,050	-	-
B 漁業	164	-	-	40,693	-	-
C 鉱業，採石業，砂利採取業	11	81.8	18.2	3,152	X	X
D 建設業	4,414	66.2	33.8	655,434	96.3	3.7
E 製造業	2,211	61.7	38.3	1,101,222	99.1	0.9
F 電気・ガス・熱供給・水道業	115	99.1	0.9	25,925	X	X
G 情報通信業	196	89.8	10.2	71,842	99.8	0.2
H 運輸業，郵便業	448	84.6	15.4	178,650	99.5	0.5
I 卸売業，小売業	7,687	48.0	52.0	1,696,955	94.6	5.4
J 金融業，保険業	297	84.5	15.5	94,478	99.5	0.5
K 不動産業，物品賃貸業	1,721	66.2	33.8	103,616	96.0	4.0
L 学術研究，専門・技術サービス業	1,672	45.8	54.2	93,577	82.7	17.3
M 宿泊業，飲食サービス業	5,256	15.9	84.1	114,652	71.4	28.6
N 生活関連サービス業，娯楽業	3,938	12.5	87.5	145,969	90.9	9.1
O 教育，学習支援業	1,088	28.8	71.2	107,539	97.7	2.3
P 医療，福祉	3,100	58.9	41.1	904,409	95.6	4.4
Q 複合サービス事業	145	33.1	66.9	126,183	99.6	0.4
R サービス業（他に分類されないもの）	2,372	69.1	30.9	156,249	95.4	4.6

注：「売上高」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

③ 企業等が有する事業所数別（単一・複数別）の状況

単一・複数別に企業等数をみると、「単一事業所企業」が 32,758 企業（全企業等の 91.8%）、「複数事業所企業」が 2,919 企業（同 8.2%）となっている。

売上高をみると、「単一事業所企業」が 2 兆 7,334 億 1,000 万円（全企業等の 46.9%）、「複数事業所企業」が 3 兆 911 億 8,700 万円（同 53.1%）となっている。

1 企業当たり売上高をみると、「単一事業所企業」が 8,633 万円、「複数事業所企業」が 11 億 7,759 万円となっている。

表 2 2 単一・複数別企業等数及び売上高

単一・複数	企業等数	売上高		1 企業当たり 売上高	
		合計に占める 割合	合計に占める 割合		
	企業	%	百万円	%	万円
合計	35,677	100.0	5,824,597	100.0	16,987
単一事業所企業	32,758	91.8	2,733,410	46.9	8,633
複数事業所企業	2,919	8.2	3,091,187	53.1	117,759

注：「売上高」及び「1 企業当たり売上高」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

産業大分類別に「単一事業所企業」と「複数事業所企業」の割合をみると、企業等数は「生活関連サービス業、娯楽業」で「単一事業所企業」の割合が95.7%と最も高く、「鉱業、採石業、砂利採取業」で「複数事業所企業」の割合が27.3%と最も高い。

売上高は、「医療、福祉」で「単一事業所企業」の割合が68.2%と最も高く、「複合サービス事業」で「複数事業所企業」の割合が96.7%と最も高い。

1企業当たり売上高は、「単一事業所企業」では「製造業」が2億5,834万円と最も高く、「複数事業所企業」では「複合サービス事業」が64億1,943万円と最も高い。

表2-3 産業大分類別、単一・複数別企業等数及び売上高

産業大分類	企業等数					売上高					1企業当たり売上高	
	企業等数	産業ごとの企業等数		産業ごとの企業等数に占める割合		売上高	産業ごとの売上高		産業ごとの売上高に占める割合		単一事業所企業	複数事業所企業
		単一事業所企業	複数事業所企業	単一事業所企業	複数事業所企業		単一事業所企業	複数事業所企業	単一事業所企業	複数事業所企業		
A~R 全産業（S公務を除く）	35,677	32,758	2,919	91.8	8.2	5,824,597	2,733,410	3,091,187	46.9	53.1	8,633	117,759
A~B 農林漁業（個人経営を除く）	1,006	919	87	91.4	8.6	244,743	142,250	102,493	58.1	41.9	15,701	131,401
C 鉱業、採石業、砂利採取業	11	8	3	72.7	27.3	3,152	X	X	-	-	X	X
D 建設業	4,414	4,181	233	94.7	5.3	655,434	394,760	260,674	60.2	39.8	9,589	123,542
E 製造業	2,211	1,990	221	90.0	10.0	1,101,222	508,420	592,803	46.2	53.8	25,834	299,395
F 電気・ガス・熱供給・水道業	115	109	6	94.8	5.2	25,925	X	X	-	-	X	X
G 情報通信業	196	156	40	79.6	20.4	71,842	10,896	60,946	15.2	84.8	7,168	156,272
H 運輸業、郵便業	448	353	95	78.8	21.2	178,650	64,168	114,482	35.9	64.1	18,492	131,588
I 卸売業、小売業	7,687	6,881	806	89.5	10.5	1,696,955	649,026	1,047,929	38.2	61.8	9,575	143,749
J 金融業、保険業	297	261	36	87.9	12.1	94,478	20,065	74,413	21.2	78.8	7,962	232,542
K 不動産業、物品賃貸業	1,721	1,636	85	95.1	4.9	103,616	52,343	51,273	50.5	49.5	3,294	73,248
L 学術研究、専門・技術サービス業	1,672	1,575	97	94.2	5.8	93,577	54,171	39,406	57.9	42.1	3,515	43,784
M 宿泊業、飲食サービス業	5,256	4,977	279	94.7	5.3	114,652	61,093	53,560	53.3	46.7	1,283	22,695
N 生活関連サービス業、娯楽業	3,938	3,767	171	95.7	4.3	145,969	34,023	111,946	23.3	76.7	923	76,154
O 教育、学習支援業	1,088	977	111	89.8	10.2	107,539	23,622	83,918	22.0	78.0	2,476	81,473
P 医療、福祉	3,100	2,601	499	83.9	16.1	904,409	616,985	287,424	68.2	31.8	24,101	61,547
Q 複合サービス事業	145	126	19	86.9	13.1	126,183	4,213	121,969	3.3	96.7	3,344	641,943
R サービス業（他に分類されないもの）	2,372	2,241	131	94.5	5.5	156,249	82,402	73,848	52.7	47.3	4,553	67,134

注：「売上高」及び「1企業当たり売上高」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

④ 主業・主業以外別の状況

本県の企業等の主業比率（売上高に占める主業の売上高の割合）は、91.8%となっている。

産業大分類別に主業比率をみると、「金融業，保険業」が99.4%と最も高く、次いで「医療，福祉」が99.2%、「鉱業，採石業，砂利採取業」が97.6%などとなっている。

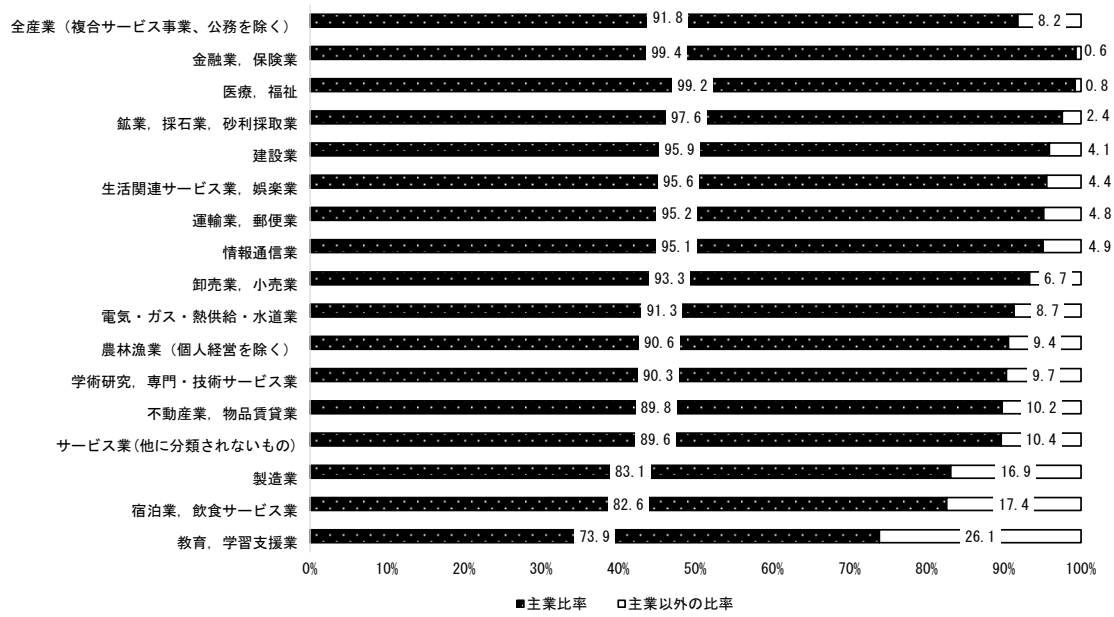
一方、「教育，学習支援業」が73.9%と最も低く、次いで「宿泊業，飲食サービス業」が82.6%、「製造業」が83.1%などとなっている。

表24 産業大分類別、主業・主業以外別売上高

産業大分類	売上高			主業比率	主業以外の比率
	売上高	主業の売上高	主業以外の売上高		
	百万円	百万円	百万円	%	%
A～R 全産業（Q複合サービス事業、S公務を除く）	5,293,599	4,861,419	432,180	91.8	8.2
A～B 農林漁業（個人経営を除く）	229,038	207,481	21,557	90.6	9.4
C 鉱業，採石業，砂利採取業	3,131	3,055	76	97.6	2.4
D 建設業	607,409	582,497	24,912	95.9	4.1
E 製造業	1,086,972	903,333	183,639	83.1	16.9
F 電気・ガス・熱供給・水道業	25,027	22,858	2,169	91.3	8.7
G 情報通信業	70,823	67,356	3,467	95.1	4.9
H 運輸業，郵便業	174,752	166,323	8,429	95.2	4.8
I 卸売業，小売業	1,567,259	1,462,679	104,580	93.3	6.7
J 金融業，保険業	93,597	93,000	597	99.4	0.6
K 不動産業，物品賃貸業	96,455	86,593	9,862	89.8	10.2
L 学術研究，専門・技術サービス業	72,735	65,701	7,034	90.3	9.7
M 宿泊業，飲食サービス業	76,300	63,019	13,281	82.6	17.4
N 生活関連サービス業，娯楽業	89,833	85,848	3,985	95.6	4.4
O 教育，学習支援業	104,205	76,959	27,246	73.9	26.1
P 医療，福祉	852,431	845,958	6,473	99.2	0.8
R サービス業（他に分類されないもの）	143,633	128,759	14,874	89.6	10.4

注：「売上高」、「主業の売上高」、「主業以外の売上高」及び「主業比率」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

図 1 2 産業大分類別主業比率



注：「主業比率」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

(4) 純付加価値率

本県の企業等の純付加価値率（売上高に対する純付加価値額の割合）をみると、22.6%となっている。

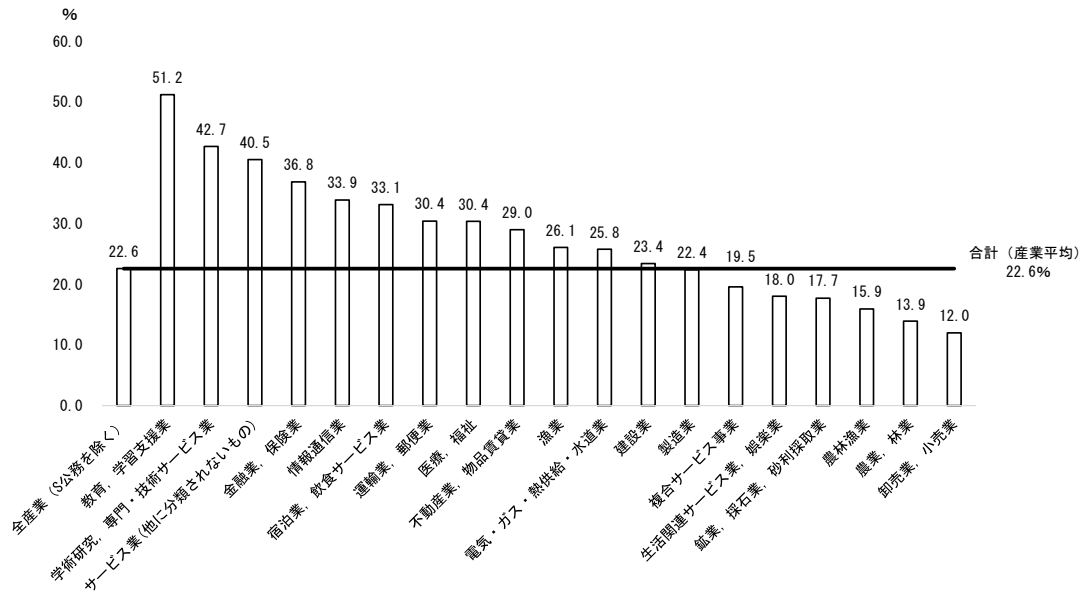
産業大分類別に純付加価値率をみると、「教育，学習支援業」が51.2%と最も高く、次いで「学術研究，専門・技術サービス業」が42.7%、「サービス業（他に分類されないもの）」が40.5%などとなっている。

表 2 5 産業大分類別企業等数、売上高、純付加価値額及び純付加価値率

産業大分類	企業等数	売上高	純付加価値額	純付加価値率
	企業	百万円	百万円	%
A～R 全産業（S公務を除く）	35,677	5,824,597	1,314,858	22.6
A～B 農林漁業（個人経営を除く）	1,006	244,743	38,975	15.9
A 農業，林業	842	204,050	28,372	13.9
B 漁業	164	40,693	10,603	26.1
C 鉱業，採石業，砂利採取業	11	3,152	558	17.7
D 建設業	4,414	655,434	153,285	23.4
E 製造業	2,211	1,101,222	246,422	22.4
F 電気・ガス・熱供給・水道業	115	25,925	6,676	25.8
G 情報通信業	196	71,842	24,321	33.9
H 運輸業，郵便業	448	178,650	54,305	30.4
I 卸売業，小売業	7,687	1,696,955	203,597	12.0
J 金融業，保険業	297	94,478	34,815	36.8
K 不動産業，物品賃貸業	1,721	103,616	30,035	29.0
L 学術研究，専門・技術サービス業	1,672	93,577	39,952	42.7
M 宿泊業，飲食サービス業	5,256	114,652	37,969	33.1
N 生活関連サービス業，娯楽業	3,938	145,969	26,290	18.0
O 教育，学習支援業	1,088	107,539	55,083	51.2
P 医療，福祉	3,100	904,409	274,587	30.4
Q 複合サービス事業	145	126,183	24,663	19.5
R サービス業（他に分類されないもの）	2,372	156,249	63,324	40.5

注：「売上高」、「純付加価値額」及び「純付加価値率」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

図 1 3 産業大分類別純付加価値率



注：「純付加価値率」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

(5) 設備投資額

全産業における設備投資額は2,028億1,400万円となっており、産業大分類別にみると、「医療、福祉」が405億600万円（全産業の20.0%）と最も多く、次いで「製造業」が370億200万円（同18.2%）、「運輸業、郵便業」が275億8,400万円（同13.6%）などとなっている。

産業大分類別に1企業当たり設備投資額をみると、「運輸業、郵便業」が6,356万円と最も多く、次いで「鉱業、採石業、砂利採取業」が4,873万円、「金融業、保険業」が2,810万円などとなっている。

表26 産業大分類別企業等数及び設備投資額

産業大分類	企業等数		設備投資額		1企業当たり設備投資額 万円
	企業等数	合計に占める割合	設備投資額 百万円	合計に占める割合	
A~R 全産業（S公務を除く）	35,677	100.0	202,814	100.0	584
A~B 農林漁業（個人経営を除く）	1,006	2.8	13,324	6.6	1,351
A 農業、林業	842	2.4	11,120	5.5	1,353
B 漁業	164	0.5	2,204	1.1	1,344
C 鉱業、採石業、砂利採取業	11	0.0	536	0.3	4,873
D 建設業	4,414	12.4	9,145	4.5	211
E 製造業	2,211	6.2	37,002	18.2	1,708
F 電気・ガス・熱供給・水道業	115	0.3	2,285	1.1	2,040
G 情報通信業	196	0.5	4,824	2.4	2,526
H 運輸業、郵便業	448	1.3	27,584	13.6	6,356
I 卸売業、小売業	7,687	21.5	19,289	9.5	257
J 金融業、保険業	297	0.8	8,036	4.0	2,810
K 不動産業、物品賃貸業	1,721	4.8	4,991	2.5	300
L 学術研究、専門・技術サービス業	1,672	4.7	2,486	1.2	151
M 宿泊業、飲食サービス業	5,256	14.7	5,121	2.5	102
N 生活関連サービス業、娯楽業	3,938	11.0	9,662	4.8	252
O 教育、学習支援業	1,088	3.0	13,567	6.7	1,281
P 医療、福祉	3,100	8.7	40,506	20.0	1,336
Q 複合サービス事業	145	0.4	1,870	0.9	1,290
R サービス業(他に分類されないもの)	2,372	6.6	2,586	1.3	111

注：「設備投資額」及び「1企業当たり設備投資額」は必要な事項の数値が得られた企業等を対象として集計。

(6) 常用雇用者規模別企業数、事業所数、常用雇用者数

会社企業について、常用雇用者規模別に企業数をみると、「0～4人」が7,713企業（会社企業全体の54.9%）と最も多く、次いで「5～9人」が2,593企業（同18.5%）、「10～19人」が1,845企業（同13.1%）などとなっている。

常用雇用者規模別に常用雇用者数をみると、「100～299人」が32,260人（常用雇用者全体の17.1%）と最も多く、次いで「50～99人」が28,669人（同15.2%）、「300～999人」が28,093人（同14.9%）などとなっている。

表27 常用雇用者規模別企業数、事業所数、常用雇用者数

常用雇用者規模	会社企業数				事業所数				常用雇用者数			
	R3		【参考】H28		R3		【参考】H28		R3		【参考】H28	
	企業	割合	企業	割合	事業所	割合	事業所	割合	人	割合	人	割合
総数	14,039	100.0	12,885	100.0	19,413	100.0	18,001	100.0	189,081	100.0	181,879	100.0
0～4人	7,713	54.9	6,489	50.4	7,970	41.1	6,659	37.0	11,859	6.3	11,184	6.1
5～9人	2,593	18.5	2,715	21.1	2,980	15.4	3,085	17.1	17,236	9.1	18,052	9.9
10～19人	1,845	13.1	1,840	14.3	2,559	13.2	2,525	14.0	24,869	13.2	24,912	13.7
20～29人	671	4.8	670	5.2	1,167	6.0	1,179	6.5	15,984	8.5	15,820	8.7
30～49人	537	3.8	523	4.1	1,218	6.3	1,188	6.6	20,358	10.8	19,816	10.9
50～99人	421	3.0	394	3.1	1,429	7.4	1,384	7.7	28,669	15.2	27,098	14.9
100～299人	195	1.4	199	1.5	1,279	6.6	1,286	7.1	32,260	17.1	31,683	17.4
300～999人	56	0.4	48	0.4	647	3.3	472	2.6	28,093	14.9	24,367	13.4
1000～1999人	8	0.1	7	0.1	164	0.8	223	1.2	9,753	5.2	8,947	4.9
2000～4999人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5000人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1：「会社企業数」、「事業所数」及び「常用雇用者数」は必要な事項の数値が得られた企業を対象として集計。

注2：「事業所数」は海外支所を含み、「常用雇用者数」は海外を含む。

注3：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。

(7) 資本金階級別企業数、事業所数、常用雇用者数

会社企業について、資本金階級別に企業数をみると、「300～500万円未満」が5,493企業（会社企業全体の39.6%）と最も多く、次いで「1,000～3,000万円未満」が3,156企業（同22.8%）、「300万円未満」が2,287企業（同16.5%）などとなっている。

常用雇用者数をみると、「1,000～3,000万円未満」が65,472人（常用雇用者全体の34.9%）と最も多く、次いで「300～500万円未満」が33,655人（同17.9%）、「5,000万～1億円未満」が21,640人（同11.5%）などとなっている。

表28 資本金階級別会社企業数、事業所数、常用雇用者数

資本金階級	会社企業数				事業所数				常用雇用者数			
	R3		【参考】H28		R3		【参考】H28		R3		【参考】H28	
	企業	割合	企業	割合	事業所	割合	事業所	割合	人	割合	人	割合
総数	14,039	100.0	12,885	100.0	19,413	100.0	18,001	100.0	189,081	100.0	181,879	100.0
300万円未満	2,287	16.5	1,189	9.5	2,576	13.4	1,372	7.8	12,787	6.8	7,653	4.3
300～500万円未満	5,493	39.6	5,495	43.8	6,540	34.1	6,534	37.1	33,655	17.9	35,906	20.0
500～1,000万円未満	2,173	15.7	2,018	16.1	2,619	13.7	2,452	13.9	17,130	9.1	16,518	9.2
1,000～3,000万円未満	3,156	22.8	3,144	25.0	5,194	27.1	5,092	28.9	65,472	34.9	62,604	34.9
3,000～5,000万円未満	387	2.8	372	3.0	866	4.5	821	4.7	14,830	7.9	13,384	7.5
5,000万～1億円未満	248	1.8	237	1.9	778	4.1	728	4.1	21,640	11.5	18,754	10.5
1～3億円未満	85	0.6	72	0.6	266	1.4	288	1.6	10,830	5.8	11,365	6.3
3～10億円未満	22	0.2	23	0.2	140	0.7	132	0.7	4,676	2.5	5,896	3.3
10～50億円未満	9	0.1	8	0.1	62	0.3	64	0.4	4,483	2.4	4,968	2.8
50億円以上	3	0.0	2	0.0	140	0.7	150	0.9	2,247	1.2	2,374	1.3

注1：「会社企業数」、「事業所数」及び「常用雇用者数」は必要な事項の数値が得られた企業を対象として集計。

注2：「事業所数」は海外支所を含み、「常用雇用者数」は海外を含む。

注3：構成比については「資本金階級」が不詳の者を除いて算出している。

注4：時系列比較を行う際には留意が必要（「利用上の注意」参照）。